

西小お別れの会

3月28日 加茂西小学校

◆主な内容

- 令和4年度施政方針……………(2)14
- 令和4年度予算概要……………(16)25
- 令和3年度加茂市表彰式・教育委員会表彰(26)27
- ニューストップクス……………(28)29
- 新指定文化財の紹介……………(30)
- お知らせ……………(31)33
- 加茂の風土記……………(34)
- 暮らしのカレンダー……………(35)
- かもぴく……………(36)

令和4年度施政方針

笑顔あふれるまちへ、暮らす人訪れる人すべての人に「笑顔」があふれるまち



1 基本方針

はじめに、令和3年度を振り返ります。

令和3年度予算は、新型コロナウイルスワクチン接種事業など感染症対策を継続するとともに、「加茂市行財政健全化推進計画」に基づいた取組を進め、社会が大きく変化する中で、ウィズコロナ、アフターコロナに適応した将来のまちづくりを見据えた予算でありました。

何よりも、令和3年10月には、市民の皆さまとの協働・共創によりつくりあげた「加茂市総合計画」が策定され、「笑顔あふれるまち 加茂」を将来像とし、ブランドデザインを示すことができました。

令和2年度は、行財政健全化の推進と新型コロナウイルス感染症対策を両立させ、加茂市が成長するための施策により「種まき」をしてきました。令和3年度には総合計画を策定し、また種が力強く成長するための環境を整えることができましたと言えます。

そして、令和4年度は、いよいよ「芽生え」の時です。種をまき、環境を整え、コロナ禍を

耐え忍び、新しい加茂市がその姿を見せる時です。その新しい姿を象徴するように、新規事業が増えました。

令和4年度当初予算は、「加茂市総合計画」策定後の最初の予算となります。6つの基本目標を実現するため施策を分類し、それらを推進する事業による予算編成を行いました。

総合計画において重点的に取り組む分野は、「健康」と「教育・文化」です。

「健康」では、公民連携で進めてまいりました健康増進プロジェクトの拡充、ウォークアブルなまちづくりの推進に代表されるように健康とまちの活性化を融合させ、市民が健康になれる施策を展開していきます。

「教育・文化」では、学校適正化方針の策定準備、GIGAスクール構想のさらなる推進、教育支援センター(仮称)の機能強化等を行うことにより、子ども一人ひとりの個性が尊重され、深い学びが得られる環境を整えます。

また、加茂市の文化発信の拠点となる加茂文化会館の大ホール客席天井の耐震化や指定管理者制度の導入により、文化活動が盛んな加茂市の特性をより際立たせるようにいたします。

その他の分野でも、人口減少、少子高齢化対策として「結婚、出産」、「子育て支援」、アフターコロナの社会に対応するため「移住・定住政策」、「DX」を推進し、持続可能なまちづくりのための施策に本格的に取り組めます。

その一方で、令和4年度に策定準備に入る、男女共同参画推進計画、人権教育啓発推進計

本日、ここに、令和4年度予算案及び関連議案を提出し、ご審議いただくにあたり、市政運営に対する基本方針並びに主要事業について申し上げます、市民の皆さまと市議会議員の皆さまのご理解とご支援を賜りたいと存じます。

画、都市計画マスタープラン等は、他の自治体では何年も前から作られているものであり、加茂市も少しずつ追いついてきたという状況です。残念ながら、周回遅れの面があるのは認めざるを得ないところでありますが、追いつくだけでなく、世界中が大きく変わっている今の時代に適した計画内容にいたします。

これらの計画策定には、時間も予算もかかります。それにも関わらず策定する一番の意義は、市全体における意識の醸成です。総合計画が策定された今、さらにきめ細かな計画を作ることで、今ある課題に対して人や関係団体の動きを加速させることができます。

これらの事業を着実にを行うため、昨年10月に総務課内に政策推進室を発足しました。企画部門を充実することで、市が行う事業とSDGsの各ゴールとの紐づけを行い、効率的に施策を推進していきます。

SDGsや脱炭素、DXに取り組まない企業が今や事業パートナーとして選ばれないよう



に、自治体も同様に選ばれない時代です。人口が少ない加茂市にとって、質を高めていくことが持続可能なまちづくりとシビックプライドの醸成につながると考えます。

また、令和4年度は、行財政健全化推進計画の最後の年です。市民の皆さまのご理解とご協力のおかげで、目標を達成する見込みです。

すなわち、令和4年度予算は財政を立て直しつつ、総合計画に基づいて編成した加茂市の変化を感じ取ることができる予算です。

そして、加茂市の将来像「笑顔あふれるまち加茂」を市民の皆さまと一緒に実現するための予算です。

2 当初予算の概要

それでは、令和4年度当初予算案の概要についてご説明申し上げます。

令和4年度一般会計予算の総額は、128億6200万円、前年度に比較して9億3700万円、7・9%の増となりました。

これに加えて令和4年度の補正予算で、新型コロナウイルス感染症対策を、国の交付金を活用して、当初予算と一体で実施します。当初予算と感染症対策事業費1億8680万円との合計額は130億4880万円です。

主な新規事業を「加茂市総合計画」の基本目標に沿って申し上げます。

【基本目標1 子育て・教育】として、子育て支援アプリの導入、子ども家庭総合支援拠点の設置、子育て応援パスポートの導入、結婚新生活支援事業補助金の創設、妊産婦メンタルヘルスオンライン健康相談の導入、AIドリの導入、ICT機器を活用した授業を支援できる指導主事の配置、教育支援センター（仮称）への臨床心理士の配置

【基本目標2 健康・福祉】として、診療所設置奨励補助金の創設

【基本目標3 生活・環境、生活基盤】として、自主防災組織設立に係る資機材整備事業補助金の創設、洪水ハザードマップの更新、消防本部庁舎耐震診断の実施、高規格救急車の更新、犯罪被害者等見舞金の創設、空家等対策計画の策定、移住ポータルサイトの作成

【基本目標4 芸術・文化、スポーツ、自治・人権】として、文化会館大ホール改修工事、スポーツ施設高天井照明のLED化、男女共同参画推進計画の策定、人権教育啓発推進計画策定委員会の立ち上げ

【基本目標5 都市の魅力創造、産業・雇用】として、まちなか賑わいづくり支援金の創設、メリア3階を含めたまちなかウォークブル推進事業、創業チャレンジ支援事業の創設、空き店舗対策事業の創設、加茂市都市計画マスタープランの策定準備

【基本目標1 子育て・教育】として、子育て支援アプリの導入、子ども家庭総合支援拠点の設置、子育て応援パスポートの導入、結婚新生活支援事業補助金の創設、妊産婦メンタルヘルスオンライン健康相談の導入、AIドリの導入、ICT機器を活用した授業を支援できる指導主事の配置、教育支援センター（仮称）への臨床心理士の配置

【基本目標6 行政活動】として、各種証明等のコンビニ交付サービスの導入、地域活性化起業人の活用によるDX推進等です。

行財政健全化を進めながら、これからの加茂市を築いていく新たな事業に取り組んでまいります。

主要な財政指標については、経常収支比率は99・6%で、前年度に比較して1・4ポイント高くなる見込みです。経常収支比率が低いほど投資的経費や政策的経費に支出する余裕がでるため、今後は経常的な経費の抑制に努めていきます。

実質公債費比率は前年と同じ8・6%、市債残高は令和3年度決算見込みと比較して2億円増加し96億円と見込んでいます。

財政調整基金の残高は、令和3年度末が4億1261万円、令和4年度末が4億7263万円、6002万円増える見込みです。令和4年度末の財政調整基金目標額3億円は、令和3年度末を超える見込みとなっています。

これらの指標を注視し、健全な財政運営を行ってまいります。

一般会計と、6つの特別会計の合計額は、212億8261万円で、前年度に比較し10億102万円、4・9%の増となりました。

3 具体的施策

次に、「加茂市総合計画」の基本目標に沿って、令和4年度の具体的な施策を申し上げます。

基本目標1 子育て・教育
未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ育つまち

1. 子育て支援

妊娠・出産から、育児をしていく過程において、子どもが健やかに育ち、またそのご家族も安心して育児ができるよう、子育て世代包括支援センターの専任保健師を1名から2名に増員し、各種相談、保健事業をより強化します。

乳幼児の保護者の交流を深め、子どもの健やかな発育を支援するため、乳幼児あそびの広場及び須田憩いとあそびの広場を「子育て支援センター」とすることで機能を明確にし、育児・発達などの各種相談や講座、読み聞かせなどの子育て事業をさらに充実させます。また、乳幼児あそびの広場では、より多くの家族が訪れることができるよう、現在休館日の土曜日も開館し、年末年始を除く毎日利用できるようにします。

子育てに必要な健診、予防接種や各種事業のお知らせを発信するとともに、これらのスケジュール管理や子どもの発育の記録などができる子育て支援アプリを導入します。併せて、子育てに関するサービス等の情報をまとめた子育て応援ガイドブックを作成し、子育て世帯への情報提供に努めます。

また、子育てに関するホームページの内容を充実して、市内外へ広く情報を発信すること

で、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

児童虐待の防止や早期発見のため、家庭児童相談員を1名増員して3名体制にするとともに、「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、妊産婦及び子どもや保護者に関する相談全般から虐待に対する支援までを専門的、継続的に行うため、関係機関との連携をより強化します。

子育て世帯の経済的負担の軽減と地域の子育て意識を醸成するため、子育て応援パスポートを導入します。また、妊産婦や子どもの医療費助成、母子の健診など従来のサービスも継続します。

多様化している子ども・子育て支援、保育ニーズに適切に対応するため、必要とされる支援内容とニーズ量を明確にするための調査をします。

子ども・子育て支援に関する施策の総合かつ計画的な推進に関し、「加茂市子ども未来会議」を開催し、行政以外の有識者からの幅広い意見を聴いて、子育て支援のニーズに柔軟に対応できるよう努めます。

公立保育園については、令和3年度末で加茂保育園を閉園し、西宮保育園に統合します。今



後も保育園の施設数の適正化を図り、保育環境を改善し、子育て世代が安心して産み育てることができるようまちづくりを進めます。

2. 結婚・妊娠・出産

加茂市の20歳から30歳代の有配偶率は、他市町村に比べて低い状態にあります。

結婚を希望する方への支援として、引き続き県が運営するマッチングサイトへの登録料を助成します。

結婚して新生活を送る方への支援として、令和4年度から、新居の家賃、引っ越し費用などを補助する「結婚新生活支援事業補助金」を創設します。件数の上限を設けることなく、1件当たり上限30万円補助します。

不妊治療中のご夫婦に対して、経済的、精神的負担を軽減するため、不妊治療への助成を引き続き行います。令和4年4月から保険適用が拡大されますが、保険適用の有無に関わらず、不妊の検査及び治療の医療費について、年齢、回数の制限なく年に10万円まで助成します。

妊産婦が心身ともに健康な状態で出産でき、楽しく子育てができるよう、妊産婦メンタルヘルスオンライン健康相談を導入します。スクリーニングにより、抑うつ等の心身状態を早期に把握し、診療が必要な妊産婦がオンライン面談を無料で受けることができる新たな体制を整備することで、産後うつ等の重症化予防に努めます。

また、宿泊又は通所による産後ケアを産科のある医療機関等へ委託し、出産後の母親の心身の回復支援を無料で行います。

3. 学校教育

GIGAスクール構想に基づき、ICT機器・教材の本格的な運用を開始しました。

令和4年度は、AIDRILの導入などデジタル教材を充実させるとともに、家庭学習におけるタブレット端末の活用など、より効果的かつ効果的な教育を推進します。子どもたち一人ひとりの興味や考えを大切にして、確かな学力と豊かな心の育成を目指します。



また、ICT機器を利用した授業を支援できる指導主事1名を配置し、学校の教育活動、学習指導、生徒指導等について指導助言を行い、学校を支援していきます。

子どもに関する教育相談にきめ細かく対応するため、令和4年度から臨床心理士2名を配置し、適応指導教室「やすらぎルーム」の名称を教育支援センター（仮称）と改め、機能を充実させます。不登校や困り感を抱えている児童・生徒のサポートに加え、小学校就学前から入学、進学、卒業後のフォローまで、切れ目のない支援を強化していきます。

これまでの加茂中学校での発達障がい通級指導教室に加えて、令和4年度、加茂小学校に通

級指導教室の新設が認められました。子どもの特性に応じた支援を強化し、個々の可能性を伸ばしていきます。これと並行し、特別支援学級介助員やスクールアシスタントを適正に配置し、全ての児童生徒が安心して学習できるよう支援を継続していきます。

新型コロナウイルス感染症の影響などによる経済的理由により就学を断念することがないよう、奨学金貸付事業を引き続き実施していきます。

4. 学校施設

「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会」において、将来を見据えた望ましい教育環境や適正な学校規模、再配置のあり方について議論しています。令和4年度中に答申をいただき、それをもとに学校適正化方針の策定に入ります。

また、学校適正化方針策定と並行して耐震工事や改修工事を進めます。令和5年度は石川小学校校舎の耐震化工事を実施します。

なお、令和4年度から石川小学校と統合する加茂西小学校児童が不安なく学校生活を送ることができるよう教職員とともにできる限りのバックアップをしていきます。

基本目標2 健康・福祉

ともに支えあい、だれもが安心して健やかに暮らせるまち

1. 健康・医療

加茂市では、年齢を追うごとに糖尿病やその予備軍、脂質異常症などの割合が高くなっていきます。そこで、望ましい生活習慣を身に付けられるよう、糖尿病等生活習慣病とメタボリックシンドロームの予防に重点を置いて、関係機関と協力して特定保健指導等の各種事業を推進します。



令和3年度に引き続き、民間、大学等の関係機関と連携し「健康増進プロジェクト」を展開します。具体的には、ウォーキングを中心とした健康増進事業や介護予防のための講演会等を行い、幅広い世代の健康増進、生活習慣病予防や、健康寿命の延伸を推進します。

また、これらの各種健康事業への参加や、特定健診、がん検診の受診を促すため、健康ポイント事業をさらに充実させます。

加茂市における持続的な医療提供体制を確保するため、新たに、診療所の開設に対する補助制度を創設します。加茂市内に新規に診療所を開業する場合又は診療を継続するため既存の診療所を後継する場合にそれぞれ一千万円を補助します。

骨髄移植ドナー支援事業については、骨髄移植を必要としている方のために、より多くの方

からドナー登録していただけるように、ドナーを雇用している事業所に対しても、引き続きドナー本人と同様の助成を行います。

身体障がい者手帳の交付の対象とならない難聴者に対し、令和3年度から難聴者補聴器購入費助成事業を実施しました。令和4年度も引き続き助成を行い、難聴者のコミュニケーション能力の向上を図ることで、社会参加を促進し、認知症、うつ病等の進行予防に努めます。

2. 障がい者・障がい児福祉

障がい者施策については、「加茂市自立支援協議会」において、障がい福祉施策等の評価や改善策の検討を継続的に行い、障がい者の日常生活や就労等の社会生活についての支援体制の整備を推進します。また、就労支援事業所などの民間事業所の誘致を積極的に行います。

民間の法人に委託している相談支援事業について、障がい福祉サービス利用の有無に関わらず、障がいのある方やご家族が気軽に相談できるように相談支援体制の充実を図ります。

障がい児支援については、早期の療育支援のため、教育機関や子育て支援機関、障がい児通所支援事業所等の連携強化を推進します。

また、児童発達支援や放課後等デイサービスを利用する児童についての相談支援体制の充実を目指します。

3. 高齢者福祉

高齢者福祉については、市民の皆さまが住み慣れたまちで安心して生活できるよう、引き続き、加茂田上地域の医療・介護関係者が連携し、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を維持します。

また、令和4年度中に加茂市介護・看護支援センターを加茂市役所内に移転し、健康福祉課等の関係部署と連携し、高齢者福祉施策を一体的に進めます。

高齢者や障がい者の介護施策については、民間事業所の新規参入を促進し、さらに地域包括支援センターの機能充実を図るため、人員の拡充など組織の見直しを進めます。地域包括支援センターを中心に、住まい・医療・介護・予防・生活支援体制が一体的に提供される地域包括ケア体制を充実し、フレイル対策から看取りまで切れ目のないサポートを行います。

また、認知症に関する知識の普及啓発や相談体制の充実を図り、認知症の方とご家族を支援します。

基本目標3 生活・環境、生活基盤

安全・安心で環境にやさしいまち

1. 防災・減災

地域や近隣で互いに助け合うための仕組みの1つである自主防災組織の結成に向けて、講演会や研修会の開催、個別の相談への対応など

きめ細かな支援を実施していきます。また、自主防災組織が購入する防災資機材等に対する補助金を創設します。

地域住民自らが判断して避難行動が取れるように、早期の立退き避難が必要な区域や、自分の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成するための情報などをより詳しく、よりわかりやすく掲載した、新しい「洪水ハザードマップ」を社会資本整備総合交付金を活用して作成します。

災害時の情報伝達体制の強化、情報伝達方法の多重化を図るため、固定電話へ「加茂市防災・市民情報配信サービス」の音声メッセージの配信を開始します。

また、情報機器の利用が困難な方やスマートフォンを持っていない高齢者世帯等へ防災情報を伝達する方法について検討を行います。

現在、市が所持している移動系防災行政無線機器は、アナログ波を利用した無線機器ですが、新たな規格を満たしていないため、今後は使用できなくなります。そのため、更新と同時に、無線回線の複線化、画像データの送受信を可能とする無線機器を整備します。

緊急自然災害防止対策事業債を活用し、準用河川堰ノ川の改修を引き続き実施するための測量・設計と、伝兵衛沢川排水路、乳倉子排水路、山島排水路、柳町排水路の水路改良により、水害への対策を行います。

新たに、宅地耐震化推進事業により、大規模地震発生時に滑動崩落の恐れがある市内の大規

模盛土造成地二か所について、変動予測調査ガイドラインに基づき、地盤の調査や安定性を検討する第二次スクリーニング計画を作成します。

2. 消防・救急

消防団員の身体を保護する防塵メガネ、耐切創（たいせつそう）手袋、編上げ安全靴などの安全装備品、震災を想定した救助用ジャッキ、夜間活動用照明、発電機などの資機材の分団各部への配備について、昨年度に引き続き進めるほか、令和4年度から水害に備え救命浮環、救命胴衣の配備を進めます。

昭和54年建築の加茂地域消防本部庁舎は、昭和56年に改正された新耐震基準以前の建築物です。耐震診断を実施し、庁舎の現状把握を行います。

加茂地域消防本部の救急車が老朽化していることから、新たに高規格救急車を購入します。今後増加が予想される救急需要に対して、最新の装備を搭載して、救命士による質の高い救急救命処置を行います。

3. 防犯・交通安全

県道、私道沿線等の防犯灯をLED化し防犯対策の強化を図ります。

犯罪被害者等の支援については、警察、い

がた被害者支援センター等の関係機関と協議し支援体制の整備を進めるほか、経済的負担の軽減を目的とした犯罪被害者等見舞金支給事業を開始します。

市民の皆さまの安全・安心な消費生活を確保するため、消費生活相談窓口新たに専任の相談員を配置し、相談体制を充実します。また、契約トラブルや多重債務に関する弁護士相談会の開催、消費者被害の未然防止のための啓発活動などに引き続き取り組みます。

4. 生活環境

現在、老朽化が進んでいる加茂市・田上町清掃センター（ごみ焼却施設）の将来構想について、田上町、加茂市・田上町消防衛生保育組合議会と協議を進めています。

仮に、新しい施設を建設するとしても、完成までには長い期間を要します。それまでの間、現施設を修繕し、稼働し続けなければなりません。焼却炉への負荷を低減し、より長く施設を維持するためにも、ごみの減量化・再資源化に積極的に取り組みます。

ペットボトルの分別回収については、回収拠点を2か所増設し6か所にするともに、7月から月1回のステーション回収を開始します。

古紙類の回収については、「再生資源回収



事業補助金」により資源回収団体の活動を支援します。併せて、市による古紙類拠点回収事業も実施します。

ごみの減量化・再資源化は、正しく分別することからはじまります。ごみ出しのルールやマナーについて、ごみカレンダー、広報、ホームページなどを活用し、市民の皆さまにわかりやすくお伝えします。

5. 住環境

空家・空地に関する施策の方針を定めるため、空家等の市内全域調査を実施し、空家等対策計画を策定します。これにより、今後、移住・定住に資するため空き家・空き地バンクに掲載可能な物件や、その他活用可能な空家等がどの程度存在するかを把握することができま

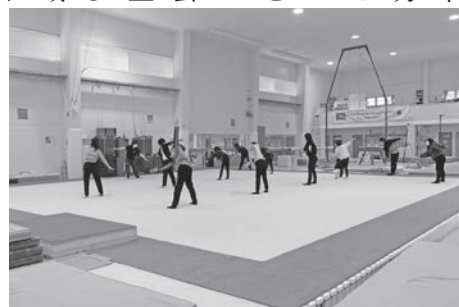
す。一方で、住生活環境を阻害する要因となる空家等がどの程度存在するかを把握し、空家等の対処方針の基礎とします。

市内の空家を住み替えの候補地として提供しやすくするため、空き家バンク登録手数料の補助制度を引き続き実施します。

長引くコロナ禍の影響により、生活スタイルが変化し、地方移住への関心が高まっています。加茂市を移住・定住の地として選んでもらえるよう、引き続き移住希望者へのオンラインセミナーの実施、移住ポータルサイトの作成により移住相談等体制の充実を図ります。

加茂市への定住・定着を図る地域おこし協力

隊事業については、令和4年1月に1名の方が地域おこし協力隊として委嘱され、健康づくり、健康寿命延伸を解決するため、幅広い年代の方に運動の機会を提供する教室の企画、運営を行っています。今後はさらに地域おこし協力隊を増やし、地域の問題解決・活性化に取り組みます。



東京圏からの移住者に対して単身での移住の場合に最大60万円、世帯での移住の場合に最大百万円の補助金を支給する移住・就業支援事業を引き続き行います。令和4年度からは、18歳未満の子どもと一緒に世帯で移住する場合、18歳未満の子ども一人につき最大30万円を加算し、子育て世代の移住・定住を支援します。

移住促進住宅取得補助金は、加茂市に移住し住宅を取得する子育て世代に50万円を支給する事業で、令和3年度から実施しています。移住・定住の促進に一定の効果もあると考えており、引き続き支援していきます。

公園施設については、「加茂市公園施設長寿命化計画」に基づき加茂山公園の高台見晴台の設計委託、改築工事を実施します。

市営住宅非常照明LED化事業により、新たに市営住宅の階段室非常用照明のLED化を

実施します。

6. 道路・公共交通

道路の新設改良については、社会資本整備総合交付金を活用し、東芝横線、菅端諏訪ノ木線、舞台八幡線の道路改良、福島線の遺跡発掘調査、下条矢立境線の歩道改良を引き続き実施します。また、市の単独事業として、令和4年度は、下大谷線1号、陣ヶ峰八幡新田線3号、大皆川線の道路改良、城ノ腰線、興屋向線3号、小橋線4号の舗装を拡充し実施します。

市道の維持管理については、県道新瀨小須戸三条線や国道403号バイパスへのアクセス道路である下条矢立境線の舗装修繕工事を拡充し実施します。

下川原排水機場は、昭和50年に建設され老朽化が著しく故障や作動不良で度々道路冠水が発生しています。この施設を令和4年度から3か年計画で更新します。

消雪施設のうち、経年劣化等で揚水量が不足している穀町福島線及び周平小路線の井戸を更新します。また、岡ノ町線の消雪パイプの布設替えを継続して実施します。

道路法で5年に1回の点検が義務付けられている市内全域の市道橋265橋について、令和4年度と令和5年度に点検を実施します。これに併せて、PCB含有量調査を実施します。

市民バスについては、令和3年10月25日から自宅前など加茂市内どこでも乗り降りできる



「のりあいタクシー」を導入し、さらに11月1日からは「市民バス」の運行をわかりやすく、使いやすいとするため、須田線、七合線の2路線に再編し、それらに加えて、朝の時間帯の通勤通学に対応する早朝バスを運行する実証実験を開始しました。実証実験中に多くの方々の声を聞き、改善しながら令和4年度中の本格運行を目指します。

のりあいタクシーの市内全域での運行、複数のタクシー会社への予約窓口の一本化は全国でも先進的な取組です。

実証実験中に、加茂市の公共交通をもっと身近に、親しみやすくするため、「市民バス」と「のりあいタクシー」の愛称を募集します。また、老朽化した「市民バス」の車両についても、キャラクターや愛称などをイメージしたデザインをラッピングした車両に更新します。

7. 水道水の供給

水道事業については、給水人口、使用水量等は年々減少し続け、給水収益が減少しています。今後も、収支均衡に向けた取組を行い安定した事業経営を図ります。また、水道料金の未

収金の回収については、催告書の発行、給水停止措置等に取り組み、引き続き収納率向上に努めます。

浄水場で作られた水を無駄にすることなく配水できるように、引き続き漏水調査を実施し、漏水箇所との修繕と天神林、柳町、八幡地内で漏水の恐れのある老朽管の布設替えを行います。これらの対策により有収率の向上を図っていきます。

新たに、管路、浄水施設等の資産状況を整理し、水道施設全体の更新計画の策定に取り組みます。

8. 汚水処理の推進

下水道の接続を推進するため、戸別訪問を実施します。広報アイテムの作成及び配布、案内の郵送、Webや広報等で下水道の情報発信に努め、接続率の向上を図ります。

下水道使用料の未収金については、水道の停水及び滞納処分により収納率向上に努めます。また、現地調査により無断接続の発見に努め、適正な下水道使用料の請求に努めます。

下水道事業の経営状況の明確化を図るため、令和6年4月から公営企業会計に移行します。そのため、令和3年度から3か年で固定資産の整理やシステム導入等の移行作業を実施していきます。それに併せて、下水道台帳電子化作業を実施し、経営基盤の強化と施設の適正な管理を図ります。

集合汚水処理の下水道整備計画区域を見直し、個別汚水処理の合併処理浄化槽設置事業と併せて、汚水処理の普及を図ります。

基本目標4 芸術・文化、スポーツ、自治・人権
学び、集い、ふれあって、自分らしく活動できるまち

1. 生涯学習

図書館では、ブックトークやお話会の開催、求めに応じた図書の提供などを通して学校や保育園との連携を図ります。また、近年では寄付により絵本をはじめとする児童書や大型絵本の蔵書も増えています。こうした魅力を発信し、さらなる利用拡大に努めます。

公民館では、「市民大学講座」「シニア教室」などの各種事業を実施し、幅広い世代に学びの場を提供します。また、「青少年育成団体連絡協議会」による事業を支援し、子どもたちが活動する場を提供します。

民俗資料館では、学校への出前授業、映画会、古文書講座や歴史講演会、昔のくらしを学ぶ小学校の授業への協力を行います。

勤労青少年ホームでは、教養講座の開催、ボランティア活動や地域交流を通じて各世代間交流の機会拡大に努めます。

2. 芸術文化・文化財



加茂文化会館については、大ホール客席天井の耐震化改修工事を行います。これにより、最低限の安全性が確保できますので、工事終了後の令和5年度から大ホールの使用を再開する予定です。工事期間中、小ホール、リハーサル室等は工事に支障のない範囲で利用できるようにします。

また、文化会館は、指定管理者制度を活用することとし、令和4年度中に指定管理者の選定を行い、令和5年度からの指定管理者による管理運営の導入を目指します。

令和3年度に引き続き、市民の皆さまが日頃の練習の成果を発表する場として、ダンスや舞踊、音楽、伝統芸能を対象とした市民文化祭を開催します。また、子どもたちに創る喜びを伝えるワークショップを開催します。

文化財は、遺跡の発掘や市史編さんを通じて所在調査や保存に力点を置いてきましたが、蓄積された資料や情報を市民共有の財産に位置付け、各種施設での展示や広報紙、ホームページでの紹介など、有効な活用を図ります。

加茂紙については、紙漉き体験の回数を拡大し、紙漉き技術の保存振興に努めます。また、加茂紙の歴史や紙漉きの作業工程をホームページで紹介するなど、加茂市にとって重要な伝統文化産業であることを市内外へアピールします。



3. スポーツ

スポーツ振興については、子どもから高齢者まで健康と運動を結び付けた事業を行います。

また、スポーツ関係団体や民間事業者等と連携しながら、子どもたちの指導や講師の派遣など競技力の向上にも力を入れていきます。

勤労者体育センター、下条体育センター、すぱーく加茂、体操トレーニングセンターの高天井照明をLED化し運動環境の向上を図ります。

冬鳥越スキーガーデンの駐車場における雨水の滞留を防ぐため、暗渠排水設備を設置し、舗装を打ち換えます。

4. 市民協働・地域コミュニティ

まちの美化、環境整備活動などを市民と行政

が協働で実施していくアダプトプログラムについて、加茂市版アダプトプログラムの検討を進めてきました。令和4年度から参加団体の募集を開始し、市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで新たな環境美化活動を推進します。

各地区のコミュニティセンターについては、引き続き多くの皆さまからご利用いただけるよう、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、高齢者対象のお茶の間サロンや健康講習会の開催など、各種団体や地域と一体となつて、集いの場としての機能の充実を図ります。

5. 人権・多文化共生

コロナ禍により2年間活動が思うようにできなかった国際交流事業については感染状況を見ながら再開します。

男女共同参画の推進については、令和4年度に新たに「男女共同参画推進計画」を策定します。計画の策定を通じて、誰もが個性と能力を十分に発揮し、ともに支え合い、活躍できる地域社会を目指します。

人権啓発については、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づき、令和4年度に人権教育啓発推進計画策定委員会を立ち上げ、「人権教育啓発推進計画」の令和7年度策定を目指します。

基本目標5 都市の魅力創造、産業・雇用

人が集い、賑わいと活力があふれ、稼ぐ力と雇用を生み出すまち

1. 魅力あるまちづくり

市民の皆さまが主役となるまちづくりを推進するためのイメージの共有、人材の確保、機運の醸成、組織づくりに着手します。

公民連携のまちづくりの橋渡しをしつつマネジメントできるブリッジ人材として地域プロジェクトマネージャーを任用するほか、ワークショップなどを通して地域や住民と一体になつたまちづくり活動を推進します。

コロナ禍による社会情勢を踏まえながらの実施形態となりますが、雪椿まつりや加茂川を泳ぐ鯉のぼりなど、魅力あるイベントへの支援を引き続き行います。こうしたイベント等を通じて、加茂市を訪れた方が、加茂市のファンになり、再び加茂市を訪れたいとなるような取組を引き続き行います。

さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、加茂川を泳ぐ鯉のぼりをライトアップします。誘客の分散化による感染症対策や渋滞の緩和を図りながら、新たな魅力の発信に努めます。

令和3年4月から加茂美人の湯は民間企業による指定管理での運営となり、「加茂七谷温泉美人の湯」に生まれ変わりました。今後も指定管理者と連携し、周辺地域の魅力の向上、発信に取り組みます。



まちなかの活性化を図る取組として、各商店街のアーケードにフリーWi-Fiを設置し通信環境を整備しました。今後、APリを活用したイベント事業を充実させることで交流人口の増加が期待できます。また、まちなかの賑わいづくりにつながるイベントを支援するため、商品の割引部分を補助する「加茂市まちなか賑わいづくり支援金」を創設し、イベントの集客力の向上を図ります。

このような新たな取組と健康プロジェクトなどの取組を有効に組み合わせることで、今よりもっと歩きたいなる「ウォーカブルなまちづくり」を推進します。

「加茂市総合計画」に基づき、これからのまちづくりの理念や都市計画の目標、全体構想、地域別構想を定める「加茂市都市計画マスタープラン」を策定する準備を進めます。令和4年度は都市再生整備計画に追加するため、事業計画を変更します。

2. 商工業の振興

コロナ禍により経済活動が停滞しないよう、中小企業者に対する金融支援や販路開拓支援をはじめ、加茂商工会議所や市内事業協同組合等が行う取組に対し、市としてできる限りの支援

を行います。

新たに「創業チャレンジ支援事業」を創設し、市内での創業時にかかる費用を助成することで、起業・創業を支援し、地域経済活性化につなげます。

新商品・新製品開発支援事業補助金により、付加価値の高い商品開発を支援し、引き続き中小企業者の販路拡大を支援します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地元産品を活用するなど地域全体の好循環につながるような新商品やメニュー開発等にも支援を上げます。

さらに、市内の事業所がホームページを新規作成あるいはリニューアルする場合の費用を助成することにより、情報発信力の強化を支援します。

市内事業者の地域特産品をふるさと加茂応援寄附金、いわゆる、ふるさと納税の返礼品として採用することで、全国への販路開拓を図ります。

また、新たな商品の掘り起こしや地域資源の活用を通じて、地域特産品の充実を目指します。

さらに、事業者や各種団体との連携を通じた開発や体験型の商品など、ポストコロナにおいて選ばれる魅力的な返礼品づくりに取り組みます。

3. 中心市街地の活性化

中心市街地の活性化を目的に、新たに「空き店舗対策事業」を創設します。商店街等の協力を得て空き店舗の状況を把握し、新規出店者に対し、商店街の空き店舗に出店する場合の改修費用あるいは家賃を補助し、空き店舗の解消に努めます。



企業、団体、地元大学等と連携し、商店街イベントの充実とPRを強化し、交流人口の拡大と商店街における経済活動の活性化を図ります。

都市再生整備計画事業により、新町多目的広場、新町交流センター、幸町公園の整備を実施します。

加茂駅周辺の賑わいの創出を図るため、ショッピングパークメリアの3階部分の整備方針を検討し、中心市街地の活性化を目指します。

令和3年4月から加茂土産物センター・インフォメーションセンターは民間企業による指定管理での運営となり、「BBC Kamomiyagemono Center」という名称になりました。カフェスペースを中心とし、オリジナル商品の開発・販売に努めています。引き続き、商品の充実や観光情報等の積極的な情報発信を図ります。



4. 農林水産業の振興

J Aにいがた南蒲、農業委員会等関係機関と連携し、引き続き地域の未来図である「一人・農地プラン」の作成を支援します。また、「人・農地プラン」を核に、「農地中間管理事業を活用して農業の担い手への農地集積・集約化を促進し、農業の生産性向上を推進します。

農林業経営に必要な機械購入の負担軽減を図るため、農機具購入費の10%以内で補助を行い、農林業者を支援します。

食生活の変化、人口減少に加え、コロナ禍による外食産業の米需要の激減により、主食用米の消費が減退する中、安定した農業経営が行えるよう支援します。令和4年度は、非主食用米等への転換に対し、助成額を10アール当たり三千円に拡充し需要に応じた生産を推進します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、米価下落や肥料費等が高騰する中、経営難による耕作放棄地の発生を抑制するため、稲作農家に対して主食用米作付面積10アール当たり千五百円を助成します。

また、燃油高騰対策として、施設園芸農家に対して施設園芸面積10アール当たり二万円、きのこ生産者に対して菌床きのこ生産に係る燃

油購入費の10%を助成します。

農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な環境の形成等の多面的機能を有しています。そのため、地域の共同活動を支援する多面的機能支払交付金事業と、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する環境保全型農業直接支払交付金事業により、地域資源の適切な保全管理を推進します。

有害鳥獣被害防止対策として、「加茂市鳥獣被害防止対策協議会」が実施する、鳥獣被害防止対策交付金を活用した電気柵設置等の事業に対し、継続して補助します。また、有害鳥獣からの農作物被害を減らすため、新たに銃猟免許を取得する方に対して費用の一部を補助し、ハウターの育成に努めます。さらに、加茂市猟友会との連携を強化し、有害鳥獣の捕獲と追ひ払いを行います。

里山周辺の健全な生活環境を維持するため、森林環境譲与税を活用し、住宅裏や農地周辺の森林を整備することで、里山環境の保全を図ります。

基本目標6 行政活動

社会の変化に対応し、市民に寄り添い、未来への責任を担うまち

1. 財政運営

行財政健全化推進計画に基づき、健全な財政運営を行うとともに、財政状況の改善と公共

サービスの向上の両立を図ります。

令和2年度に「公共施設再配置方針」を策定し、令和3年度には道路や橋梁、公園施設などすべての公共施設を網羅した「公共施設等総合管理計画」を改訂し、今後の建替えや維持管理の全体像を示したところです。今後、これらの計画をもとに残すべき施設と統廃合する施設を選定し、残す施設に集中投資していきます。

新潟県地方税徴収機構に参加し、県と他市町村と共同で税の滞納整理を行います。この機構での案件処理を通じて滞納処分を的確に実施し、滞納額の縮減に努めます。

また、納税者の利便性の向上を図るため、令和3年4月からコンビニ収納とスマートフォンによる収納サービスを開始しました。引き続き市税収入の確保に努めます。

ふるさと納税を推進し加茂市の魅力発信や地域経済の活性化を図るとともに、自主財源の確保を図ります。また、ウェブプロモーションをはじめとする積極的、多角的な情報発信を継続して行い、ふるさと納税につながるような取組を強化します。

2. 行政運営

令和3年度に完成した「加茂市総合計画」に基づき、今ある課題の解決と将来を見据えた投資をしていきながら、まちづくりを進めます。今後も、広く住民に周知を図り、事業の進捗状況等管理を行います。

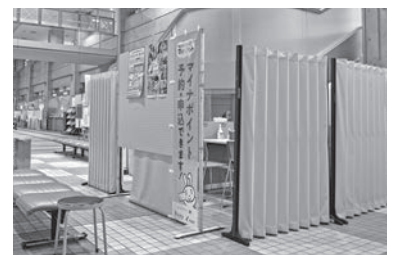
マイナンバーカードの普及について、今まで以上に広報に力を入れるとともに、市民課窓口での申請サポートに加え、市内コミュニティセンター等での出張申請に力を入れます。取得率70%以上を目指します。

令和4年度中に、住民票の写し、印鑑登録証明書、住民税証明書（所得証明書、課税証明書）を、コンビニエンスストアで、マイナンバーカードを使用することにより取得できるようにします。これにより、市役所の閉庁時でも証明書の取得ができるようになり、利便性が向上します。

DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組み、地域の人が暮らしやすい社会をつくり、誰一人取り残さない、全ての人に優しいDXを推進します。

地域活性化起業人制度を活用して、民間企業のデジタル分野専門人材を一定期間受入れ、デジタル技術やデータ活用に関するノウハウや知見を活かした業務効率化に取り組み、人的資源を住民サービス向上につなげていきます。また、届出や申請などのデジタル化を推進し、市民の皆さまの利便性向上と業務の効率化を図ります。

なお、令和3年度に引き続き「スマホ講習



市民課前の申請手続き専用ブース

会」を開催し、デジタル技術を扱うことができる人とできない人との間に生じる格差・デジタルデバイドの是正に取り組みます。

広報については、市民の皆さまから、より一層市政に関心をもっていただくため、さらにわかりやすく、読みたくなる「広報かも」を発行していきます。

市民の皆さまの郷土愛、シビックプライドの醸成に寄与するため、広報かも表紙には、SNS上で加茂の魅力を発信する広報キャンペーン「#かもぴく」で取り上げた写真などを掲載しています。また、有料広告を掲載できるようにし、税外収入のさらなる確保に努めます。

市のホームページは、ユニバーサルデザインにも配慮し、アクセスしやすく、使いやすく、分かりやすい、市の魅力が伝わるホームページになっていきます。今後も内容の充実に努め、市内外への情報発信の質をさらに高めます。

また、市のPRについては、市長定例記者会見を毎月行い、市内外に向けて情報を発信しています。また、LINE、ツイッターなどのソーシャルメディアを最大限活用し、より多くの方に市の情報が届くよう努めます。

市職員の働



市ホームページのトップページ

き方改革や人員の適材適所の配置を行い、職員
の能力が十分に発揮できる職場環境を作りま
す。また、多様化する住民のニーズに対応でき
る人材を育成するため、職員研修や人事評価に
取り組みます。

現在の企画財政課を財政課として組織を改編
します。

これは、昨年10月に総務課内に政策推進室が
発足したことにより、企画財政課の企画部門で
ある企画調整係を総務課へ移管し、替わりに総
務課の管財係を財政課に移管し、市の財産管理
を一元化するものです。

「加茂市総合計画」の中で、市が行う事業と
SDGsのどのゴールが関連するか紐づけを行
い、SDGsを意識しながら、様々な事業に取り
組んでまいります。また、加茂の自然を大切
にするとともに、地球環境に対する意識の醸成
を図るため、新たに「加茂市環境基本条例」を
制定します。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスワクチン接種について
は、加茂市医師会等の関係機関と連携し、国の
動きに合わせて円滑な接種を進めてまいりま
す。

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種
は、国の接種間隔の前倒し方針に基づき、ワク
チン接種を希望される方全員が5月末までに接
種を終えることができるように進めていきま

す。

また、5歳から11歳の小児の新型コロナウイルス
ワクチン接種につきましては、3月8日か
ら開始できるよう準備を進めています。

加茂市独自の新型コロナウイルス感染症緊急
経済対策事業は、国の交付金を活用し、市民の
皆さまが安心して暮らせるよう取組を実施しま
す。

先の施策で述べた項目以外では、加茂商工会
議所や商店街が主催する事業に補助を行い、地
域経済が速やかに回復できるよう支援してまい
ります。

4 結び

以上、令和4年度の市政運営の基本方針並び
に主要事業について、ご説明いたしました。

いまだ終わりが見えないコロナ禍の中、新型
コロナウイルス感染症対策が最優先課題であ
り、加茂市におきましても、国や県の動向を注
視しながら臨機応変に対応いたします。

これまで、コロナ禍は私たちの生活や、社会
の様々なあり方、価値観に大きな変化をもたら
しました。

総合計画を策定した今、私たちは新しい加茂
市になるために本格的にスタートを切ったばか
りです。新しい市政への転換による変化、コロ
ナ禍による変化、そして少子高齢化・人口減少
社会のような日本全体の課題やSDGsに代表
されるような世界的な動きに対応するための変

化、性質の違う三つの変化の波の中に加茂市は
置かれています。それらの変化の波の中にある
ことに気づいている人がほとんどでしょう。

まちが変化していくことに戸惑い、困惑して
いる人がいる時、灯りをともし、手を引いて一
緒に歩き導く役割をするのが行政です。まちの
変化をチャンスと捉え、新しいことにチャレン
ジする人がいる時、伴走し、その人の力をより
高める役割ができるのも行政です。市民の想
いと行政の動きが結びついた時、まちは必ず活
性化します。

課題は多くとも、笑顔あふれるまちに必ず人
は集まると信じ、令和4年度の市政運営をして
まいります。

結びに、市民の皆さま並びに市議会議員の皆
さまにおかれましては、引き続き、いよいよ動
き出した総合計画のもと、まちづくりを進めて
いく新しい加茂市政に対するご理解とご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

これまで以上に、市民の皆さまの想いをしつ
かり聞きながら、市が直面する多くの課題の克
服と市民サービスの一層の向上に職員と一丸と
なって取り組んでいくことをお約束いたし、令
和4年度の施政方針といたします。

加茂市の消費生活相談状況

昨年度はなりすましメール（フィッシング）に関する相談や「光回線からアナログ回線に戻すと料金が安くなる」という電話勧誘に関する相談が高齢者を中心に多くありました。通信販売についての相談も年齢を問わず相談が多い傾向です。通信販売はクーリング・オフの対象外です。購入前にキャンセル、返品等については規約等をよく確認しましょう。

また、4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられました。成人になると一人で契約できる反面、原則として一方的にやめることはできません。「ネット広告で『簡単に稼げる』と宣伝している副業サイトに登録したが、全然稼げない。高額な登録料が払えない。」といった若者からの相談も増えています。悪質業者は社会経験の乏しい若者を狙っています。契約前には身近な人に相談するなどよく考えましょう。

☆啓発リーフレット・グッズをご活用ください☆

消費者トラブルの未然防止に役立てるため、啓発用のリーフレットやグッズを作成し、市民の皆様にお配りしております。啓発やイベント用にご利用される際は、市役所商工観光課にお問い合わせください。

（作成グッズ例：タオルハンカチ、ウェットティッシュ、メモ帳など）

【困ったときの相談窓口】

消費者ホットライン



188 (イヤヤ)

※最寄りの消費生活センターなどの相談窓口につながります

～または下記相談窓口まで～

加茂市商工観光課消費生活相談窓口 ☎0256-52-0134（相談専用電話）

新潟県消費生活センター ☎025-285-4196（相談専用電話）

令和4年度 加茂市

予算概要

令和4年度当初予算は、「加茂市総合計画」策定後の最初の予算となります。加茂市が目指す将来像は「笑顔あふれるまち 加茂」です。6つの基本目標を実現するため施策を分類し、それらを推進する事業による予算編成を行いました。

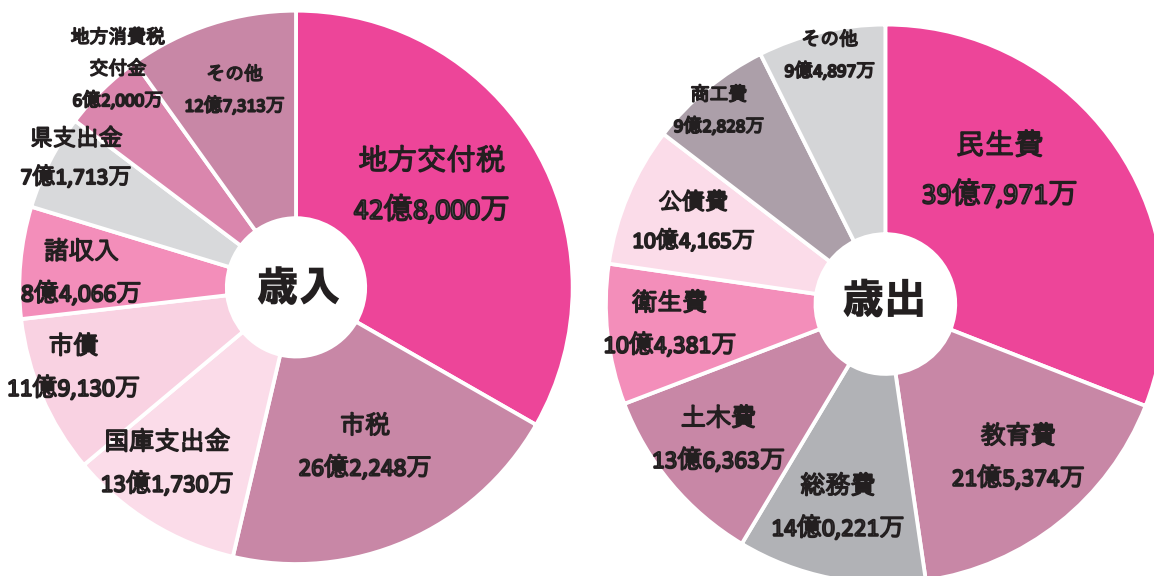
総合計画で重点的に取り組む分野は、「健康」、「教育・文化」です。そして、その他の分野でも、人口減少、少子高齢化対策として「結婚、出産」、「子育て支援」、アフターコロナの社会に対応するため「移住・定住政策」、「ウォークアブルなまちづくり」、「DX」を推進し、持続可能なまちづくりのための施策に本格的に取り組めます。

これらの事業を着実に実行するため、昨年10月に総務課内に政策推進室を発足しました。企画部門を充実することで、市が行う事業とSDGs各ゴールとの紐づけを行い、効率的に施策を推進していきます。

さらに、継続して新型コロナウイルス感染症対策を重点的に行ってまいります。

一般会計当初予算総額 128億6200万円 (前年度比7.9%.増)

(単位：円)



一般会計 12,862,000 + 新型コロナウイルス対策第1号補正 186,797 = 13,048,797千円

特別会計

(単位：千円)

会計名	令和4年度	令和3年度	前年度比
国民健康保険	2,644,533	2,668,084	△ 0.9%
後期高齢者医療	349,752	336,417	4.0%
宅地造成	147,332	147,332	0.0%
下水道	1,943,970	1,756,251	10.7%
介護保険	3,330,390	3,215,651	3.6%
在宅介護サービス	4,635	232,857	△ 98.0%
合計	8,420,612	8,356,592	0.8%

財政構造

区分	令和4年度	令和3年度	前年度比
経常収支比率	99.6	98.2	1.4
実質公債費比率	8.6	8.6	0.0
将来負担比率	118.7	106.1	12.6
市債残高	96億円	94億円	+ 2億円
基金残高	4.7億円	4.1億円	0.6億円

水道事業会計

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和3年度	前年度比	
収益的収支	水道事業収益	540,360	547,626	△ 1.3%
	水道事業費用	505,586	498,691	1.4%
	差引 A	34,774	48,935	△ 28.9%
資本的収支	資本的収入	78,550	82,717	△ 5.0%
	資本的支出	194,073	222,086	△ 12.6%
	差引 B	△ 115,523	△ 139,369	△ 17.1%
損益勘定留保資金	過年度分	91,625	60,759	50.8%
	当年度分	87,662	91,182	△ 3.9%
	合計 C	179,287	151,941	18.0%
収支差引 A+B+C	98,538	61,507	60.2%	

主要事業

1. 子育て・教育

(単位：千円)

施策1 子育て支援

	事業名	事業費	概要
拡充	子育て世代包括支援センター	2,575	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制を強化します。保健師を1名から2名に増員し、各種相談、保健事業をより強化します。
新規	子育て支援アプリの導入	992	子育てに必要な健診、予防接種や各種事業のお知らせを発信するとともに、これらのスケジュール管理や子供の発育の記録などができる子育て支援アプリを導入します。
新規	子育て応援ガイドブックの作成	1,879	子育てに関するサービス等の情報をまとめた子育て応援ガイドブックを作成し、子育て世帯への情報提供に努めます。
新規	子育て応援パスポートの発行	184	子育てに関するサービス等の情報をまとめた子育て応援ガイドブックを作成し、子育て世帯への情報提供に努めます。
拡充	地域子育て支援センター	15,518	子育てに関する相談や情報提供、講習会により育児不安の軽減を図り、親子遊びと交流の場を提供します。乳幼児あそびの広場は年末年始を除く毎日利用できるようになります。
新規	こども未来会議	311	子ども・子育て支援について、有識者や保護者の代表等から幅広い意見を聴いて、今後の施策につなげるための会議を開催します。
新規	子育て支援事業ニーズ調査委託料	3,000	多様化している子ども・子育て支援、保育ニーズに適切に対応するため、必要とされる支援内容とニーズ量を明確にする調査をします。
継続	インフルエンザ予防接種助成	4,361	13歳未満のインフルエンザ予防接種に対し、1回あたり1,500円を支給します。
拡充	子ども家庭総合支援拠点	11,297	家庭児童相談員を2名から3名に増員。子ども家庭総合支援拠点を設置し、家庭における子どもの養育及び妊産婦や虐待の相談、支援の強化を行います。
継続	子ども医療費助成	73,825	自己負担額を外来1回530円とします。入院は完全無料です。0才児は外来も完全無料です。(対象期間)入院・通院とも高校卒業まで

施策2 結婚・妊娠・出産

	事業名	事業費	概要
継続	婚活マッチングサイト登録料助成金	110	結婚を希望する方を支援するため、新潟県が運営するマッチングサイトへの登録料の1/2を助成します。[1件あたり5,500円]
新規	結婚新生活支援事業補助金	6,000	夫婦共に39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用又は住宅賃借費用、引っ越し費用などを補助します。[上限30万円]
継続	不妊治療助成	1,500	保険適用の有無にかかわらず、1年度あたり10万円を上限に年齢・回数に制限なく助成します。
新規	妊産婦メンタルヘルスオンライン診療	320	妊産婦が心身ともに健康な状態で出産でき、楽しく子育てができるよう、妊産婦メンタルヘルスオンライン健康相談を導入します。スクリーニング診断により、抑うつ等の心身状態を早期に確認し、診療が必要な妊産婦が気軽にオンライン面談を無料で受けることができる新たな体制を整備し、産後うつ等の重症化予防に努めます。
新規	産後ケア事業	856	宿泊または通所による産後ケアを産科のある医療機関等へ委託し、出産後の母親の心身の回復支援を無料で行います。
継続	妊産婦医療費助成	5,431	自己負担額を外来1回530円、入院1日1,200円とします。(対象期間)医師が妊娠を確認した日～出産の翌月末

施策3 学校教育

事業名	事業費	概要
新規 デジタル教材	5,400	児童生徒1人1台の学習用タブレット端末で活用するデジタル教材(AIドリル)を整備し、学習を支援します。
継続 学習支援員	600	教員の指導技術等向上のため、学習支援員を雇用し教員を指導します。
継続 英語教育充実	12,284	英語教育と国際理解教育の充実と国際交流を図るため、外国語指導助手(ALT)を外国から招致します。JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)を利用することにより普通交付税が増額されます。
新規 学校ICT支援 (指導主事)	7,674	学校におけるICT機器の活用等の教育活動、学習指導、生活指導等について指導助言し、学校を支援します。
新規 教育支援センター (仮称)	4,630	子どもに関する教育相談にきめ細かく対応するため、令和4年度から臨床心理士1名を配置し、適応指導教室「やすらぎルーム」の名称を教育支援センター(仮称)と改め、機能を充実させます。不登校や困り感を抱いている児童・生徒のサポートに加え、小学校就学前から入学、進学、卒業後のフォローまで、切れ目のない支援を強化していきます。
継続 スクールアシスタント	5,238	通常学級に通う児童生徒により丁寧な指導を実践し、学習や生活を支援します。
継続 奨学金	55,584	経済的理由により就学が困難な学生・生徒に対して、奨学金を貸し付けます。
継続 就学援助及び奨励費	29,658	経済的理由により就学が困難な児童生徒及び特別支援学級に通級する児童生徒に対して、給食費や学用品費などを補助します。
継続 放課後児童クラブ (旧児童館)	37,349	下校後、常時留守家庭となる小学校低学年の児童を保育します。[設置場所]市内全小学校 [開館時間]放課後～18:30(長期休暇8:00～18:30)

施策4 学校施設

事業名	事業費	概要
継続 石川小学校 耐震補強事業	192,970	校舎の耐震化工事に向け、仮設校舎建設工事と仮設校舎へ引っ越し業務委託を行います。
継続 スクールバス	110,543	児童・生徒の安全を確保するため、また、遠距離通学者等の利便性を高めるため31台のスクールバスで送迎をします。

2.健康・福祉

(単位:千円)

施策1 健康・医療

事業名	事業費	概要
継続 健康診査費	78,436	各年代に応じた健(検)診の実施及びその後の保健指導・支援体制の充実により、糖尿病重症化予防をはじめ、生活習慣病有症状者等を減少させ、医療費の抑制に努めます。
新規 健康増進 プロジェクト	5,737	活動量計を利用した健康増進事業を実施し、地域、行政、民間団体で連携しながら健康づくりとともに地域づくりを進めます。
継続 健康づくり ポイント事業	212	市民の健康づくりの取組に対してポイントを付与し、健康グッズと交換できる等自主的な健康づくりや健診・検診の受診を促進します。
継続 高齢者の保健事業と 介護予防の一体的事業	1,200	後期高齢者医療広域連合から委託を受け、高齢者の多様な課題に、きめこまやかな支援を実施するため、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施を効果的に進めます。
新規 診療所設置奨励事業	20,000	市内において新規開業する医師、医療施設の整備及び診療体制の継続確保等を図る後継の医師に対し、補助金を交付することにより、地域医療の体制の維持・充実に取り組みます。

事業名		事業費	概要
継続	看護職員修学資金貸付金	3,000	養成所に在学している方に修学資金を貸与します。看護職員の免許を取得し、卒業後、県央基幹病院・加茂市内の病院、診療所等に看護職員として5年間継続して従事した場合は、返済が免除されます。
継続	応急診療所補助金	9,000	県央医師会応急診療所の施設整備費借入金償還金を加茂市も負担します。 [R2～5年度 4年総額 2768万円]
継続	骨髄移植ドナー支援	681	骨髄移植の推進やドナー登録者増加を図るため、ドナーやドナーを雇用する事業所及び骨髄移植支援団体を支援します。
継続	難聴者補聴器購入助成	1,000	身体障がい者手帳の交付とならない難聴の程度で、一定の条件に該当する方に対して補聴器の購入助成をします。 [生活保護世帯・市民税非課税世帯 上限5万円、市民税課税世帯 上限2万5千円]

施策2 障がい者・障がい児福祉

事業名		事業費	概要
継続	自立支援協議会	308	障がい福祉施策等の評価・改善策の検討や支援体制の整備推進のために自立支援協議会を開催します。
継続	障害児通所支援給付費	45,766	障がい児の通所サービス、障がい児相談支援事業の利用に係る給付を行います。
継続	精神障害者入院費助成	1,870	入院にかかる医療費の自己負担額の4割を助成します。
継続	人工透析患者通院費助成	1,779	人工透析患者が通院に要する交通費の一部を助成します。

施策3 高齢者福祉

事業名		事業費	概要
継続	在宅家族介護支援事業	12,600	在宅の寝たきりの方、認知症または重度心身障害者を常時介護している方に対して月額5,000円支給します。[要支援1以上の認定を受けた方]
継続	ホームヘルプサービス等利用料助成	6,993	ホームヘルプサービス、訪問看護、訪問リハビリテーション利用料について、低所得者に対し2分の1助成します。
継続	自立相談支援事業	5,797	生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じる窓口を設置します。関係機関との連絡調整なども行います。[社会福祉協議会委託事業]
継続	長寿祝い金贈呈	3,833	100歳の方に祝い金5万円、88歳の方に5千円の商品券を贈呈します。

3.生活・環境、生活基盤

(単位：千円)

施策1 防災・減災

事業名		事業費	概要
継続	自主防災組織活動事業補助金	500	自主防災組織の結成と活動の促進を図るため、自主防災組織に資機材の整備や防災訓練等の事業に係る費用の1/2を補助します。[1団体あたり上限5万円]
新規	自主防災組織設立に係る資機材整備事業補助金	1,000	自主防災組織の結成と活動の促進を図るため、自主防災組織が設立時に整備する資機材の購入に係る費用の全額を補助します。[1団体あたり上限20万円]
新規	洪水ハザードマップ更新	9,600	豪雨時に自ら判断して避難行動が取れるように、早期の立退き避難が必要な区域やマイ・タイムラインを作成するための情報を掲載した新しい洪水ハザードマップを作成します。
拡充	加茂市防災・市民情報配信サービス	2,068	災害時の情報伝達体制の強化、情報伝達方法の多重化を図るため、既存のメディアへの配信に加えて、固定電話への音声メッセージの配信サービスを開始します。

	事業名	事業費	概要
新規	移動系防災無線 整備事業	5,280	現在使用しているアナログ波の移動系防災行政無線機器が使用できなくなるため、新スプリアス規格に対応した無線機器に更新し、無線回線の複線化等を図ります。
繰越	宅地耐震化推進事業	4,200	「大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドライン」に基づき、地盤の調査や安定性を検討する計画の作成を行います。

施策2 消防・救急

	事業名	事業費	概要
継続	災害対策用資機材購入	1,648	消防団に配備する災害対策用資機材を充実させます。
新規	加茂地域消防本部 耐震診断	2,489	現在の加茂地域消防本部庁舎は、耐震診断が未実施のため耐震診断を実施し、庁舎の現状把握を行います。[加茂市・田上町消防衛生保育組合事業費 387万円]
新規	高規格救急車の更新	29,222	今後増加が予想される救急需要に対して、最新の装備を備えた高規格救急を更新し、救命士による質の高い救急救命処置を行います。 [加茂市・田上町消防衛生保育組合事業費 4546万円]

施策3 防犯・交通安全

	事業名	事業費	概要
継続	街灯LED化事業	32,800	県道・私道沿線等の防犯灯をLED化し、防犯対策の強化を図ります。
新規	犯罪被害者等見舞金 支給事業	400	犯罪等により被害を受けた方やその遺族に対し、経済的負担軽減を図るため見舞金を支給します
拡充	消費生活相談窓口	7,397	専任の消費生活相談員を雇用し、消費生活に関する様々な相談や苦情を受け付け、トラブル解決のためのお手伝いをします。消費者被害の未然防止のための啓発活動を行います。

施策4 生活環境

	事業名	事業費	概要
新規	ペットボトルの 分別回収	7,916	ごみの減量化とリサイクルの推進を図るため、ペットボトルのステーション回収を実施し、拠点回収場所を2箇所増設して、完全なペットボトル回収を図ります。
拡充	再生資源回収事業	2,060	古紙類、アルミの回収を行った団体に対して、回収量に基づき補助金を交付して資源化と減量化を図ります。併せて、市による古紙拠点回収も実施します。

施策5 住環境

	事業名	事業費	概要
拡充	空家等対策事業	1,597	空家の実態を把握するため市内全域の調査を実施します。また、空き家バンクの活用促進のため引き続き空き家バンク登録手数料の1/2を補助します。[1件あたり上限5千円]
拡充	移住・就業支援事業	2,829	移住・定住促進のために、情報発信、移住相談、移住体験ツアー等の企画・運営を行います。県外から移住体験ツアー等に参加する場合の交通費（上限額1万円）を補助します。
拡充	地域おこし協力隊	20,560	都市地域から「地域おこし協力隊」を招いて、地域の問題解決・活性化に取り組みます。[特別交付税措置上限480万円/一人]
拡充	移住・就業支援事業	2,550	東京圏から要件を満たして移住した方に、単身者の場合は最大60万円、世帯移住者の場合は最大100万円を支給します。 [18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は一人につき最大30万円を加算]
継続	移住促進住宅取得 補助金	10,000	子育て世代の加茂市への移住・定住を支援します。市外から加茂市へ転入し、住宅（新築・中古）を取得する方に補助金を交付します。[1件あたり上限50万円]
継続	公園施設長寿命化	49,350	公園施設長寿命化計画に基づいて、加茂山公園の高台見晴台の改築工事を行います。

	事業名	事業費	概要
繰越	市営住宅非常用照明LED化事業	14,600	市営住宅階段室の非常用照明をLED器具に交換し、市営住宅の長寿命化を図ります。

施策6 道路・公共交通

	事業名	事業費	概要
繰越	道路整備(補助)	56,175	東芝横線、菅端諏訪ノ木線、舞台八幡線の道路改良、福島線の遺跡発掘調査、下条矢立境線の歩道改良を行います。
拡充	道路整備(単独)	6,000	下大谷線1号、陣ヶ峰八幡新田線3号、大皆川線の道路改良、城ノ腰線、興屋向線3号、小橋線4号の舗装を行います。
継続	道路維持(市道)	20,500	老朽化が進む市道の計画的な修繕を行い、安全安心な道路交通を確保します。
新規	道路維持(道路排水施設)	7,100	老朽化が進む道路排水施設の計画的な修繕を行い、安全安心な道路交通を確保します。[下川原排水機場]
拡充	道路維持(消雪施設)	50,900	老朽化した消雪施設を更新し、冬期間の安全な道路交通を確保します。 [穀町福島線消雪パイプ井戸掘替、岡ノ町線消雪パイプ布設替、周平小路線消雪パイプ井戸掘替]
継続	道路維持(橋梁)	33,000	橋梁の定期点検を行い、あわせてPCB含有量調査を行います。
拡充	市民バス	120,259	新たな運行形態である乗り合いタクシーと再編された市民バスの実証実験を行い、令和4年度中の本格運行を目指します。また、老朽化した車両についてもラッピングしたバスに更新します。[一般財源の約8割が特別交付税で措置されています]

4. 芸術・文化、スポーツ、自治・人権

(単位：千円)

施策1 生涯学習

	事業名	事業費	概要
継続	図書館費	35,167	図書の充実を図るとともに、ブックトークやお話会の開催、学校や保育園との連携を図り、さらなる利用者の拡大に努めます。
継続	公民館費	42,001	市民大学講座などの各種事業の実施および青少年育成団体連絡協議会への支援を行います。
継続	民俗資料館費	8,798	民俗・歴史・考古資料などを保存し、学校への出前授業などに活用します。また、古文書講座、映写会、歴史講演会を行います。
継続	勤労青少年ホーム費	12,294	各種教養講座を開催し、有意義な余暇活動の場を提供します。

施策2 芸術文化・文化財

	事業名	事業費	概要
新規	加茂文化会館大ホール改修工事	500,127	大ホールの客席天井及び座席の改修工事を行います。令和5年度から使用を再開する予定です。 客席天井改修工事：3億6909万5千円 座席改修工事：1億3103万2千円
新規	加茂文化会館施設整備事業	14,822	運営に必要な設備の整備として、GHPエアコンの改修及びピンスポットライトの更新を行います。
継続	自主事業	3,469	芸術・文化活動の活性化を図るため、また芸術・文化に対する市民の関心と理解を深めるために、「市民文化祭」や「加茂アットホームコンサート」など4事業5公演を行います。
継続	市内遺跡試掘調査費	2,000	開発事業との調整を行うため遺跡の試掘・確認調査を行います。昨年調査した結果について報告書を作成します。

事業名		事業費	概要
継続	市史編さん費	7,503	「加茂市史」通史編下巻に向けた資料調査と原稿整備を進め、令和5年度の刊行に備えます。
拡充	紙漉き技術保存事業 振興費	5,025	紙漉き技術の保存振興のために紙漉き体験、ホームページ等の情報発信を充実させます。

施策3 スポーツ

事業名		事業費	概要
新規	スポーツ施設高天井 照明LED化	20,100	勤労者体育センター、下条体育センター、屋内ゲートボール場、体操トレーニングセンターの高天井照明をLED化し、電気料、修繕料の縮減を図ります。
新規	冬鳥越スキーガーデン 駐車場舗装整備	16,700	冬鳥越スキーガーデンの駐車場に暗渠排水設備を設置し舗装します。

施策4 市民協働・地域コミュニティ

事業名		事業費	概要
新規	アダプトプログラム 事業	437	ボランティア活動で市民が道路や公園の美化・環境整備活動をする登録団体等に対して、清掃用具等を支給します。
継続	コミュニティセンター 管理・運営	89,569	市内6カ所に設置してあるコミュニティセンターの管理・運営を行います。

施策5 人権・多文化共生

事業名		事業費	概要
継続	中学生代表団 ロシア派遣事業	3,200	ロシアのコムソモリスク・ナ・アムーレ市へ中学生代表団を派遣します。新型コロナウイルスの感染状況により変更の可能性があります。[個人負担金 5万円]
新規	男女共同参画推進 計画策定事業	5,292	男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画推進計画を策定します。
新規	人権教育啓発推進 計画策定事業	136	人権教育啓発推進計画策定委員会を立ち上げ、令和7年度策定を目指します。

5.都市の魅力創造、産業・雇用

(単位：千円)

施策1 魅力あるまちづくり

事業名		事業費	概要
継続	ハイキングコース 登山道管理事業	6,383	市内のハイキングコースや粟ヶ岳登山道等を安全に利用していただけるように整備します。
継続	加茂七谷温泉美人の湯 管理事業	63,462	七谷地域という特色を活かしたメニューやイベントの実施、また情報発信や観光の拠点として合同会社加茂人が管理運営を行っています。[指定管理料 5000万円]
新規	まちなかウォーク 推進事業	13,737	市民が主役となるまちづくりを推進するためのイメージの共有、人材の確保、機運の醸成、仕組みづくりに着手します。公民連携のまちづくりの橋渡しのための地域プロジェクトマネージャーを任用します。
新規	まちなか賑わいづくり 支援金	5,000	市内を回遊するイベントの事業主に対し、商品の販売価格に対する割引部分を助成することでイベントの集客向上を図ります。
継続	地方創生推進事業	3,131	ふるさと納税の寄附者などに、SNSでの情報発信や地場産品の魅力体験などを実施して、関係人口・交流人口の拡大と、ICTを活用した地場産品の販路開拓に取り組みます。
新規	加茂市都市計画マ スタープラン策定準備	270	「加茂市総合計画」をもとに「加茂市都市計画マスタープラン」を作成する準備をします。

施策2 商工業の支援

	事業名	事業費	概要
継続	創業支援資金融資	31,880	[加茂市制度融資] 限度額1000万円 利率1.0% 期間10年以内 信用保証料補助100% [新潟県制度融資] 限度額3500万円 利率1.6~2.0% 期間10年以内 信用保証料補助50~100%
新規	創業チャレンジ事業	2,032	地域経済の活性化を目的として、市内での創業時にかかる費用（機械設備等購入費等）の1/2を補助します。[1件あたり上限100万円]
継続	企業設置奨励金	49,733	市内に工場・事業所を新設・増設・移設する者に対して、固定資産税及び都市計画税納税額を奨励金として3年間交付します。
継続	中小企業経営強化資金融資	139,931	[加茂市制度融資] 限度額3000万円 利率1.5% 期間10年以内 信用保証料補助25~50%
継続	新商品・新製品開発支援事業	1,032	市内の中小企業者が付加価値の高い新商品・新製品を開発し、販路拡大に取り組む事業費の1/2を補助します。[1件あたり上限50万円]
継続	産地振興事業	4,526	地域資源の利活用や、異業種との交流・連携により、市内の事業所、事業協同組合が行う販路開拓事業及び中小企業の人材育成のための研修受講料に対し補助します。

施策3 中心市街地の活性化

	事業名	事業費	概要
新規	空き店舗対策事業	2,000	中心市街地の活性化を目的に、商店街の空き店舗に新規出店する事業者を支援します。
継続	都市再生整備計画事業	47,280	アーケードの整備された商店街を中心に、さらに新町交流センター、新町多目的広場、幸町公園を整備し、中心市街地の活性化を図ります。また、メリアの3階の整備方針を検討します。
継続	土産物センター（BBC）管理事業	2,461	カフェを併設し、オリジナルの土産物の企画・販売をはじめ、情報発信やイベントの拠点として株式会社G.F.G.S.が管理運営を行っています。

施策4 農林水産業の振興

	事業名	事業費	概要
継続	「人・農地プラン」作成支援	80	関係機関と連携し、地域の未来図である「人・農地プラン」の作成を支援し、このプランを核に農地集積・集約化を加速させ、競争力を強化します。
継続	農機具購入助成	14,236	農林業経営者の省コスト化と所得向上を目的として補助します。 [補助率]10%以内
継続	生産調整推進対策助成補助金	4,000	非主食用米等の作付面積に対し、3千円/10a（予算の範囲内でかさ上げ）を助成します。[対象者] 経営所得安定対策交付金申請者・生産数量目安達成者
継続	多面的機能支払交付金	9,478	良好な農村環境の形成や環境を重視した質的向上を図るため、地域の共同活動を支援します。
継続	環境保全型農業直接支払交付金	1,946	化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。
継続	加茂市鳥獣被害防止対策協議会補助金	1,000	国の鳥獣被害防止対策を活用し、電気柵設置補助を行う事業主体の加茂市鳥獣被害防止対策協議会へ運営費を補助します。
継続	森林経営管理事業	18,294	森林環境譲与税を活用し、里山環境の保全と森林の有する公益的機能の維持向上を図ります。

6. 行政活動

(単位：千円)

施策1 財政運営

	事業名	事業費	概要
継続	コンビニ・スマートフォン収納サービス	1,592	納税者の利便性の向上を図るためコンビニ収納とスマートフォンによる収納サービスを行います。
継続	ふるさと加茂応援寄附金	299,201	加茂市の魅力発信及び地域経済の活性化を目的として、返礼品の拡充や積極的・多角的な情報発信を継続して行います。[目標寄附金額 6億円]

施策2 行政運営

	事業名	事業費	概要
継続	総合計画費	277	令和3年度に策定した加茂市の将来像と政策の方向性を示す総合計画の事業進捗管理と職員の政策立案能力の向上を図ります。
新規	デジタルトランスフォーメーション推進事業	13,400	デジタル専門人材の地域活性化起業人を活用し、業務の効率化や市民サービスの向上を図ります。
継続	マイナンバーカード交付事業	12,608	市民の70%以上にマイナンバーカードを普及させることを目指し、広報や、コミュニティセンター等で出張申請を行います。
継続	広報紙の発行	16,424	分かりやすく、読みたくなる「広報」を発行していきます。
継続	ホームページ構築及び運用事業	2,320	加茂市の最新情報や新しい取組、緊急情報などをホームページを使って適切に発信していきます。[5年総額1000万円]

新型コロナウイルス感染症対策

(単位：千円)

- 1 新型コロナウイルスワクチンの接種を行います。(予算額：93,283千円)
- 2 令和4年度第1号補正(予算額：186,797千円)

加茂市独自の新型コロナウイルス対応事業

	事業名	事業費	概要
継続	公共的空間安全・安心確保事業	9,128	市内公共施設に検温付き消毒スタンドやパーティション等を設置し、各施設での感染拡大防止を図ります。
新規	庁舎ネットワーク強化事業	7,370	業務のデータ化や感染防止のためのWEBミーティングなど庁内ネットワークの情報量が増加しているため、既設のLANケーブルを更新強化し、デジタル業務の円滑な持続を図ります。
新規	投開票所感染防止対策事業	10,164	投開票所での接触の機会を減らし三密を回避するため、投票用紙自動交付機や自動読取分類機を導入し、感染拡大防止を図ります。
新規	移住・定住ポータルサイト等作成事業	3,889	地方移住への関心が高まっているなかで加茂市を選んでもらえるようポータルサイト等を作成し、移住定住・関係人口の創出や拡大を図ります。
新規	多目的スペース整備事業	22,300	感染拡大防止として分散勤務や会議を可能とするため、市役所別棟(旧レストラン棟)を整備します。
新規	証明書コンビニ交付事業	4,898	住民票の写し、印鑑登録証明書、住民税証明書(所得証明書、課税証明書)、を、コンビニエンスストアで、マイナンバーカードを使用することにより取得できるようにします。
新規	新型コロナウイルス感染者生活支援事業	1,100	新型コロナウイルス感染症により自宅療養される方に食糧支援を行います。
拡充	健康増進ウォーキング事業	2,034	健康増進プロジェクトのうち、令和3年度参加者分の賞品及び令和4年度新規参加者用に活動量計を確保し、参加者の継続意欲向上と新規参加者の増加を目指します。

	事業名	事業費	概要
継続	PCR検査費用助成事業	3,084	条件に適合する無症状者の早期発見と早期療養につなげ、感染拡大の防止を図るため検査費用を助成します。
新規	後期高齢者医療保険料納付環境整備事業	275	後期高齢者医療保険料をコンビニエンスストアで納付できようシステムを導入します。
新規	介護保険料納付環境整備事業	275	介護保険料をコンビニエンスストアで納付できるようシステムを導入します。
新規	農業者支援事業費補助金	7,715	米価下落や肥料費等が高騰していることから、農業者の経営安定を図るため、主食用米作付面積に対して1,500円/10aを助成します。 [対象者：生産数量目安達成者]
新規	燃油高騰対策施設園芸生産者支援事業費補助金	102	燃油価格が高騰していることから、農業者の経営安定を図るため、施設園芸作物を栽培するハウス面積に対して2万円/10aを助成します。
新規	燃油高騰対策施設きのこ生産者支援事業費補助金	1,000	燃油価格が高騰していることから、菌床きのこ生産者の経営安定を図るため、燃油購入費の10%を助成します。
新規	プレミアム商品券発行事業費補助金	16,100	地域経済活性化のため、加茂商工会議所が行うプレミアム商品券発行事業を補助します。[販売価格：1万円、プレミアム率：30%、発行数：6,000セット]
継続	飲食店等応援キャンペーン事業費補助金	3,900	市内飲食店等を支援するため、加茂商工会議所が行う飲食関連販売イベント等を補助します。
継続	商店街活性化支援事業費補助金	5,000	地域の消費を喚起するため、市内商店街で使えるクーポンを景品として発行する事業の4/5を補助します。[上限500万円]
新規	国内展示会出展小間料補助金（コロナ交付金枠）	9,900	販路拡大を支援するため、国内展示会に出展する際の小間料等の2/3を補助します。[上限：単独20万円、複数50万円、組合70万円]
新規	新商品・新製品開発支援事業費補助金（コロナ交付金枠）	15,000	地元産品を活用した商品・メニューや付加価値の高い新商品・新製品の開発を支援します。[補助率：2/3、上限50万円]
新規	ホームページ作成等支援事業費補助金	14,000	市内事業所がホームページを新規作成、リニューアルする場合の費用を支援します。
新規	観光需要回復支援事業	1,000	落ち込んだ観光需要回復のため、加茂川を泳ぐ鯉のぼりをライトアップします。
継続	道路環境改善事業	24,300	市内の経済対策と中小建設業者の雇用維持を目的として市内業者を対象に道路舗装等の修繕を実施します。
継続	公園緑地環境改善事業	7,900	外出自粛等の影響を受けた市民が3密を避けるため公園等で過ごす契機となるよう、加茂山公園散策路等の修繕を実施します。
継続	融雪施設改善事業	12,000	市内の経済対策と中小建設業者の雇用維持を目的として市内業者を対象に消雪パイプ等融雪施設の修繕を実施します。
新規	成人式感染防止対策事業	1,283	新型コロナウイルス感染症の影響により成人式に出席できない新成人のために式典を動画配信します。式典終了後に開催していたパーティーの代わりに記念アルバムを贈呈します。
新規	文化会館Wi-Fi環境整備事業	3,080	文化芸術活動をオンラインで配信、講演会などをリモートで開催できるようにするため、Wi-Fi環境の整備を行います。

加茂市表彰式



令和3年度 加茂市表彰式

令和3年度の加茂市表彰式は3月29日、産業センターホールで開催されました。

いずれも各分野での功労・功績をたたえられての受賞です。(敬称略)

【自治興隆】

浅野一明 市議会議員として十年以上。下興屋向

瀧澤茂秋 市議会議員として十年以上。寿町

飯岡佐治雄 農業委員会委員として十年以上。一区

【善行】

本量寺寒行会 地域福祉のため多年にわたり寒行、托鉢の浄財を寄附。五番町

【教育文化功労】

佐藤芳春 改組新第2回・第8回「日展」第5科(書)入選。寿町
難波來人 令和4年 歌会始入选。後須田

【保健衛生功労】

泉田洋子 献血五十回以上。五番町

小柳和雄 献血五十回以上。下興屋向

小出和美 学校薬剤師として二十年以上。柳町



謝辞を述べる三浦伸一さん

加茂市医師会 市の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に尽力。幸町

加茂薬剤師会 市の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に尽力。本町

【体育功労】

早坂晶宗 第75回全日本体操種目別選手権・東京2020オリンピック日本代表選考競技会「種目別」跳馬第4位入賞。田上町

阿部祐希 第25回日本ミッドアマチュアゴルフ選手権競技 第5位入賞。青海町

【社会福祉功労】

長谷川久子 民生・児童委員として十二年以上。大郷町

小池俊木 人権擁護委員として十五年以上。本町

【土地改良功労】

番場勇 加茂郷土地改良区役員として二十年以上。上下条

【消防功労】

坂上誉 消防団員として三十年以上。下大谷

梅田文男 消防団員として三十年以上。黒水北

阿部修 消防団員として三十年以上。上土倉

中野久良夫 消防団員として三十年以上。岩野

【市行政功労】

亀山勇 統計調査員として十五年以上。下土倉

【私財寄附】

株式会社TKC 新型コロナウイルス感染症予防対策のため金員250万円を寄附。栃木県

特別表彰

【自治興隆】

樋口博務 市議会議員として三十年以上。後須田

安武秀敏 市議会議員として三十

年以上。幸町

永井尚文 農業委員会委員として二十五年以上。天神林

増井敬治 農業委員会委員として十五年以上。早田

渡邊晃 固定資産評価審査委員会委員として十五年以上。北湯

【教育文化功労】

乙川文隆 第17回国際地理オリンピックイスタンプール大会 個人競技メダル／文部科学大臣表彰受賞。神明町

【体育功労】

福島希 第50回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ ソフトテニス2021女子ダブルス(個人戦)優勝。矢立

若林舞衣子 GMOインターネット・レディースサマンサタバサグローバルカップ優勝。芝野

浅野豊 献血百五十回以上。千刈

井伊健 献血二百五十回以上。陣ヶ峰

【保健衛生功労】

阿部信幸 献血三百回以上。高須町

三浦伸一 国民健康保険運営協議会委員として二十年以上。五番町

【市行政功労】

三浦伸一 国民健康保険運営協議会委員として二十年以上。五番町

令和3年度教育委員会表彰

教育文化の発展に寄与された方々を教育委員会が表彰しました。

表彰式では、加茂市長、教育長から功労・功績に対する感謝の言葉が贈られました。表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

【文化功労】

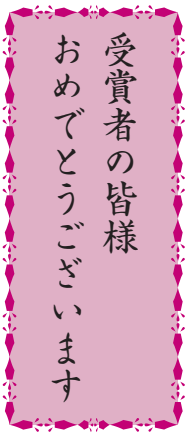
涌井好子 改組新第8回日本美術展覧会第5科(書)入選。赤谷

外石智慧子 第75回新潟県美術展覧会写真部門奨励賞受賞。前須田

渡邊恵子 第75回新潟県美術展覧会写真部門奨励賞受賞。鶴森



代表してあいさつする涌井好子さん



受賞者の皆様
おめでとうございます

NEWS TOPICS

鯉のぼり準備(3/17・4/6)

17日午後1時30分から上条コミュニティセンターで、泳がせる会の会員や市職員有志ら17人が、衣装ケースにしまっていた鯉のぼりの確認作業をしました。作業中に見つけた破けているものはとり除き、口ひもがほつれているものは直しました。

また、4月6日(水)の午前中に鯉のぼりの取り付け作業を行いました。



長さを揃えて組み合わせます



口(くち)ひもはこんな感じです



今年も元気いっぱい泳ぎます！

リネットジャパンリサイクル株式会社との連携協定(3/18)



藤田市長と中村俊夫社長

加茂市は、ごみ減量化と希少資源の有効活用に向けた取組みとして、リネットジャパンリサイクル株式会社と使用済み小型家電の回収に関する連携協定を3月18日に締結しました。

リネットジャパンリサイクル株式会社は、国の認定事業者であり、全国で唯一宅配便を活用して使用済み小型家電を回収しています。

この協定により、家庭で不要になったパソコン等の無料回収をインターネットやFAX等から申込み、宅配事業者が希望日時にご自宅まで回収に伺います。回収した小型家電は、小型家電リサイクル法に基づき適正に処理され、国内で再資源化されます。



インターネットからも手続き出来ます



申し込みフォーム



VIPシティホール 西加茂
加茂市栄町2-11
☎0256-52-4999

あなたの街の  **VIPシティホール**

**大切なご家族の最期のお見送りを
真心こめてお手伝いさせていただきます。**

家族葬から一般葬、大型葬まで
24時間365日、葬祭ディレクターが対応いたします。





VIPシティホール 加茂
加茂市千刈2丁目309-1
☎0256-53-4999

【有料広告】

NEWS TOPICS

「チームにいがた」加茂市職員派遣(3/25・4/6)



3月16日(水)に福島県沖で発生した地震の家屋被害調査へ、新潟県からは「チームにいがた」として、県内自治体職員が派遣されました。加茂市からは4名の若手職員が福島県新地町へ派遣されました。

Microsoft Base連携協定式・開所式(3/29)

29日(火)午前11時、小柳建設株式会社コワーキングスペースにて加茂市と三条市はそれぞれ、小柳建設株式会社、日本マイクロソフト株式会社との包括連携協定を締結し、また、Microsoft Base開所式が行われました。この協定は、クラウド技術等のITサービスの活用や導入推進、デジタルトランスフォーメーションの推進などを目的としています。



左から日本マイクロソフト(株)執行役員の三上智子さんと滝沢亮三条市長、藤田市長、小柳建設(株)小柳卓三代表取締役社長

「若葉会」 捨てる前にもう一度役立つ

ボランティア団体さん紹介コーナー

当会は「さくら苑」の見学会で、綿製の古布(シャツ、シーツ等)が清拭用に役立つことを知り、西加茂地区保健推進員の活動として始めました。

その後、布切りの手伝いを加え、「布集め、布切り」に発展して、現在は有志の活動になりました。(平成9年4月)

活動は苑のボランティア室に集まり、裁ちばさみを持参して手と口をフル回転。情報交換など楽しい時間です。

高齢等で退会された方もいます。が、新加入の方もいます。活動継続のため、新会員さん大歓迎です。(布集めのみの方も可)

作業終了時に、苑が用意してくださるお茶の会も大変うれしく楽しい時間です。



① 団体 Infomation

活動の種類 清拭用の布集めと布切り
施設ボランティア
主な活動日 毎月第3土曜日
午前9時30分～11時30分
活動場所 さくら苑
お問合せ 社会福祉協議会
(☎52-6667) へ



新指定文化財の紹介

令和四年三月二日の教育委員会で、新たに二件が加茂市文化財に指定されたので、紹介します。

カモナナタニムカシイトヨ化石
(ホロタイプ)

この化石は加茂市大字下大谷の三柱神社裏手の崖面から平成二十一年に発見されました。化石が出土した地層は、深海の堆積物で「南五百川層」と呼ばれます。時代は新生代新第三紀中新世後期で約九百九十年前頃に堆積したと考えられています。

平成二十五年、ミハエル・ナザルキン博士（ロシア科学アカデミー動物学研究所）、藪本美孝博士（北九州市立自然史・歴史博物館）、卜部厚志准教授（新潟大学）の調査研究により、新種のイトヨであることが、日本古生物学会英文誌『Paleontological Research』で発表され、ホロタイプ（完模式標本）として認定されました。学名は『*Gasterosteus kamoensis*』（ガステロステウス カモエンシス）、和名は加茂の七谷に昔いた

イトヨの意味から「カモナナタニムカシイトヨ」と命名されました。

全長が13cm以上と大きく、鱗板が長く、背鰭基部から腹鰭基部までを覆うこと、鱗板が体の前部から尾鰭の付け根まで並ぶことなどから、トゲウオ科魚類として原始的な特徴があり、トゲウオ科魚類全体の進化を考える上で重要な存在と考えられます。また、中新世にイトヨ属が北西太平洋に広く分布していたことと形態的生態的に多様であったことを示している点でも重要としています。

カモナナタニムカシイトヨの



カモナナタニムカシイトヨ化石

化石はイトヨ属の中で学名が与えられた唯一の日本産イトヨ属魚類の化石で、後に発見された個体が同じ種かどうか同定する際の基準資料となる唯一無二の個体であることから極めて重要な資料と言えます。

長唄うしろ面

保持者：市山七十梅寿

うしろ面は一人二役の変化踊りで、能楽の流れを汲んで歌舞伎で行われた芸能です。当地へ伝えたのは、江戸時代後期に活躍した歌舞伎役者の岩井可保世（二七九三〜一八五七）といわれ、以来花柳界を中心に受け継がれてきました。

今日の加茂市で、この芸能を伝えるのは市山七十梅寿ただ一人です。戦争の影響で絶えたいうしろ面を戦後復活した市山七十梅（一九一六〜七一）に就き、二歳から日本舞踊を始めた七十梅寿は、十五歳で日本舞踊市山流の名取になりました。のちに七十梅の遺弟で、その没後にうしろ面を復活し加茂市文化財の保持者となった市山七十之助（二九四七〜二〇一六）、それに



市山七十梅寿

市山流家元の市山七十世に師事し、修練を重ねました。

こうしてうしろ面への理解を深めた七十梅寿は、平成二十三年の「舞踊まつり」で初めて観衆へ披露し、令和三年までに六度の上演を果たしています。

うしろ面が受け継がれてきた背景には、保持者たちと一緒に研鑽を積んだ市山七十梅年や市山七十梅代などの舞踊家、それを後押しする市川浩一郎・横山旭三郎といった重立（おもだち）の力添えがありました。七十梅寿もこうした人々に近く、保存と伝承に努めてきたことも、重要な功績と評価されます。

市長との座談会 24日 産業センターと 加茂西小学校



昨年、悪天候のため延期した産業センターと加茂西小学校での「市長との座談会」を行います。総合計画について理解を深めていただくよう開催させていただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

①日時 4月24日(日) 午後3時～5時
会場 産業センター
②日時 4月24日(日) 午後7時～9時
会場 (旧)加茂西小学校
問い合わせ 総務課政策企画係 (☎内線330)
※4月1日でお知らせした時間が変更されていますので、ご注意ください。

年長・年中児の皆さん 親子運動教室で楽しもう

生涯スポーツの基礎が作られる

かも健康ポイント事業 楽しみながら 健康づくりを始めましょう



かも健康ポイント事業の講演会を開催します。講演では楽しみながら運動を継続し健康づくりにつなげていくコツをお話します。

日時 5月8日(日) 午後1時30分～3時(受付 午後1時～)
会場 産業センターホール

対象 市民、かも健康ポイント事業参加者
定員 100人程度(先着順)
持ち物 活動量計(お持ちの人のみ)、筆記用具、マスク
演題 楽しみながら健康づくりを始めましょう! かも健康ポイント事業のヒミツ
講師 山下和彦さん(一社) ライフロングウォーキング推進機構、東都大学
申し込み 4月26日(火)までに健康福祉課(☎内線164)へ。

ジュニアテニスクラブ 受講生を募集

練習日 5月8日～令和5年3月までの日曜日に開催。月に2、3回程度。



時間 午前9時～11時
会場 すぱーく加茂
対象 小学3年生以上
定員 20名程度

参加費 7,000円(保険、ボール代他)

※入会式で集めます

入会式 5月8日(日)

準備品 硬式テニスラケット、テニスシューズ、体操着

申し込み 勤労者体育センター内スポーツ振興係(☎53-2206)

問い合わせ 加茂テニス協会山田さん(☎52-6233)

幼児期に広い開放感のある空間で運動してみませんか。
みんなと一緒に体を動かすので協調性や社会性を身に付ける機会にもなります。

対象 市内在住・在園(保育園・幼稚園)の年長児・年中児とその保護者

開催日 5月23日、6月13日、27日、7月11日、25日、8月8日、21日、9月12日、26日、10月17日、24日、11月14日、28日、12月12日、26日、1月15日、30日、2月13日、27日、3月13日の全20回(8月21日と1月15日以外は月曜日に実施)

時間 午後7時～8時
会場 勤労者体育センター

※8月21日(日)は加茂山、1月15日(日)は冬鳥越スキーガーデンで午前10時～正午に行います。

内容 SAQトレーニング、軽運動、レクリエーションなど

参加費 親子1組2千500円

定員 15組(先着順)
※最少催行人数10組

申し込み 5月13日(金)までに参加費を添えて勤労者体育センター内スポーツ振興係(☎53-2206)へ。

※感染症拡大防止対策として、運動時以外はマスク着用と教室参加前に必ず検温を行い、体調不良などがある場合は参加を自粛してください。

また、今後の感染状況次第で中止する場合があります。

自然ふれあい教室

探鳥会



日時 5月14日(土) 午前8時～10時
 場所 加茂山公園
 講師 勝俣将明さん(日本野鳥学会、中学校校長)
 持ち物 双眼鏡(持っている人)
 参加費 無料
 対象 小学生、野鳥に興味のある人
 申し込み 5月6日(金)までに公民館(☎52-11953)へ。
 ※新型コロナウイルス拡大等により中止する場合があります。

伝統文化こども教室

子どもたちに伝統文化を体験・修得してもらいます(受講料無料)。

各教室の申し込み、問い合わせは社会教育課(☎内線461)へ。
■加茂松坂こども教室 「加茂松坂」の唄、笛、太鼓、三味線、踊りを習得。習熟者には「加茂小

唄」の笛、太鼓、三味線も指導。
 期間 3月までの第2、4土曜日午後7時～8時30分

会場 中央コミュニティセンター

対象者 小・中・高校生
 定員 20人程度

講師 加茂松坂保存会

■加茂邦楽こども教室 箏、三味線(地歌三絃)の演奏を体験。

わらべ唄、日本の名曲、童謡、アニメソングなど親しみのある曲を学びます。

期間 3月までの月2回程度、水曜日午後6時30分～8時30分

会場 文化会館

対象者 小・中・高校生

定員 20人程度

講師 新潟箏曲理音会、高橋理香さん

※箏の爪は貸し出します。

■茶道こども教室 茶道体験を通じて、おもしろさや礼儀、作法の大切さを学びます。

期間 3月までの月2回、土曜日午前9時30分～11時

会場 勤労青少年ホーム2階和室

対象者 小学生 定員 15人程度

講師 高橋宗美さん(裏千家準教授)

※抹茶・菓子代が1回500円がかかります。

紙漉き体験
 しませんか



一般(高校生以上、B5とA3ノビサイズ各1枚の紙漉き)と親子(小・中学生とその保護者、B5サイズ2枚の紙漉き)対象の紙漉き体験です(要事前申し込み、先着順)。希望の日時を申し込みください。

開催日

▼一般(高校生以上)

① 5月26日(木) 午前10時～、午後1時30分

② 5月29日(日) 午前10時

③ 6月23日(木) 午前10時～、午後1時30分

④ 6月26日(日) 午前10時

▼親子体験(小・中学生とその保護者)

① 7月9日(土) 午前10時

② 7月10日(日) 午前10時

会場 加茂紙漉場(上町1) 募集 各回5人(親子は5組)

所要時間 1～2時間程度(参加者数による)

料金 1人(組) 千500円

※B5サイズは当日持ち帰り、A3ノビサイズは後日のお渡し。

郵送希望は別途郵送料が必要。

その他 新型ウイルス感染症対策のためマスク着用、各自朝の検温(当日)実施。体調の優れない人は参加を控えてください。

申し込み 社会教育課(☎内線461)

手話教室



ろうあ者と健常者とのコミュニケーション手段の1つである手話を学びます。

手話に興味のある人は参加してみませんか(参加費無料)。

開催日 5月12、19、26日、6月2日の各木曜日、午前9時30分～11時30分

会場 公民館第4研修室

講師 大野良子さん、関美紀さん 定員 15人

申し込み 4月28日(木)までに社会福祉協議会(☎52-6667)へ。

乳がん 医療機関検診



乳がん（マンモグラフィ）医療機関検診を実施します。受診希望の人は健康福祉課健康

づくり係（☎内線 162）へ申し込んですから、済生会三条病院（☎33-1551）にご予約ください。

検診期間 6月1日（水）～10月28日（金）

※検診1日当たり定員は2人です（先着順）。

会場 済生会三条病院（三条市大野畑6）

対象者 昭和58年3月31日以前生まれの女性

※隔年受診です。昨年、市の乳がん検診受診者は不可。

検診料 1,400円（70歳以上無料）

- ① 学校教育法による大学（短期大学を含む）卒業
 - ② 社会福祉士または社会福祉主事の資格を有する人
 - ③ 普通自動車運転免許を有する人
- 給与等** 月額14万6千円
- ※賞与・社会保険あり。有給休暇等は職員休業規定による。

試験日 6月4日（土）

試験の種類 甲種、乙種第1～6

危険物取扱者試験



社会福祉協議会 非常勤職員を募集

8月採用予定の社会福祉協議会の非常勤職員を募集します。外郭団体事務や生活困窮者自立支援、その他の事務業務を行います。

採用人数 2人

受験資格 次のすべてを満たす人

① 学校教育法による大学（短期大学を含む）卒業

② 社会福祉士または社会福祉主事の資格を有する人

③ 普通自動車運転免許を有する人

給与等 月額14万6千円

次年度以降、正職員採用の場合があります。

試験 作文、面接

※試験日は応募者に後日連絡。

申し込み 6月30日（木）までに

市販の履歴書に必要事項を記入し社会福祉協議会（☎52-6667）へ。



類、丙種

試験地 新潟市、長岡市、上越市、三条市、佐渡市

申し込み インターネット申し込みは5月6日（金）までに（一財）

消防試験研究センター（<http://www.shoubo-shiken.or.jp>）へ。

書面は4月18日（月）～5月9日（月）に同センター新潟県支部（新潟市中央区新光町、☎025-1281-7774）へ。

問い合わせ 加茂地域消防署・予防課（☎52-1770）

※試験案内などは加茂地域消防署

予防課にあります。

連休中のごみ収集



「ごみの収集」は祝日も行います（日曜日は休み）。

「し尿汲み取り」は日曜日・祝日が休み、清掃センターは日曜日が休みです。

問い合わせ 環境課生活環境係（☎内線25）

パソコン等小型家電宅配便で無料回収

市は小型家電リサイクル法の認定事業者「リネットジャパンリサイクル株式会社」と連携協定を結び、家庭で不用になったパソコン等の無料回収を始めました。

■回収の申し込み

① リネットジャパンリサイクルから申し込む

② パソコン等をダンボールに詰める

③ 宅配業者が希望日時に回収

■申し込みの流れ

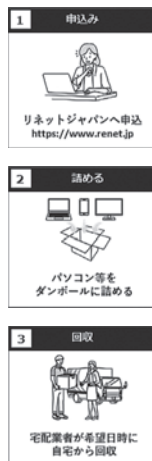
▼データは自身で消去すれば無料。

▼他の小型家電、周辺機器も同梱可能。

▼無料になる箱のサイズと重量上限は、3辺合計140cm以内、重量20kg以下です。

▼詳しくはリネットジャパンリサイクル株式会社（<https://www.renet.jp/>、専用窓口☎0570-085-800）へご確認ください。

問い合わせ 環境課（☎内線252）



加茂の魁さきがけという地域

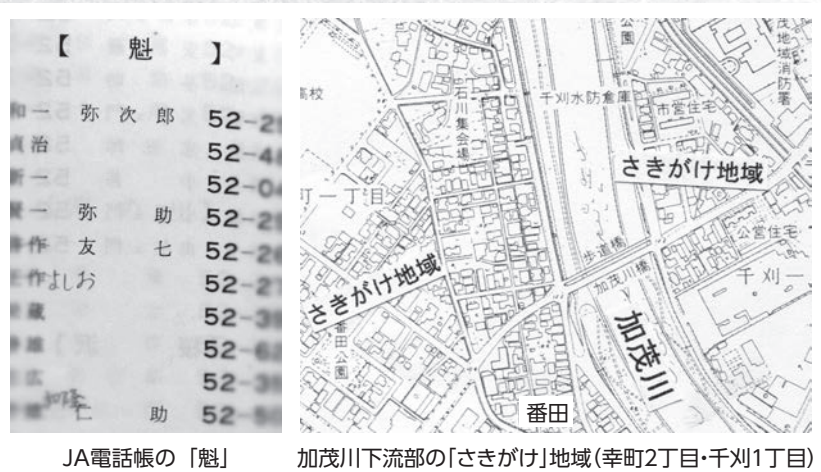
加茂川中流部で、加茂川橋下流地域に「さきがけ」という地名が残っている。加茂市の「小字一覽表」には載っていない。いわば通称地名である。

さきがけ（魁）というのは、他よりも先駆けて住居を構え、農事に携わったということの地名である。言わば加茂の本村の最先端地域で、そのさきがけ地域は入植期により、ほぼ三期に分けられるようだ。その時期をみると①昭和十年代、②昭和三十五年代、③昭和四十五年度の三期である。

「さきがけ」という地域名の名付け親は、加茂町の町長や加茂郷

加茂の風土記

耕地整理組合長を勤め、のちに衆議院議員となった田下政治（一八八六～一九五三）である。田下政治は昭和十八年（一九四三）に帝国耕地協会から耕地拡張・改良事業功労者として表彰されてい



JA電話帳の「魁」

加茂川下流部の「さきがけ」地域(幸町2丁目・千刈1丁目)

る。また戦後の昭和二十一年（一九四六）七月に加茂川の排水機工事が加茂新田において完成しているが、田下政治の尽力も大きかった。こうした中で「さきがけ」が開かれているが、①の昭和十年代に移転した軒数は、四、五軒で加茂川橋下手の加茂川両岸に居を構えていった。移転した人々は、西宮橋

から下手付近の人達が移ったという。移った先が昭和三十五年代の加茂町の番田より先端部にできたという意味で「さきがけ」と名付けたとみられる。

明治年代から昭和初期頃までの加茂川左岸の集落は、石川集落が貴船神社を中心に広がっていた。左岸の人家は石川を最下流として付近には人家がなかったのである。「さきがけ」は石川から上手、加茂町の最先端部にできた地域であった。

②の昭和三十五年代は先の西宮橋下手、本町地域の人達も①の時期に準じて移転した人たちとみられる。

③は、昭和四十五年から進められた加茂川改修を機に移転した人達であった。

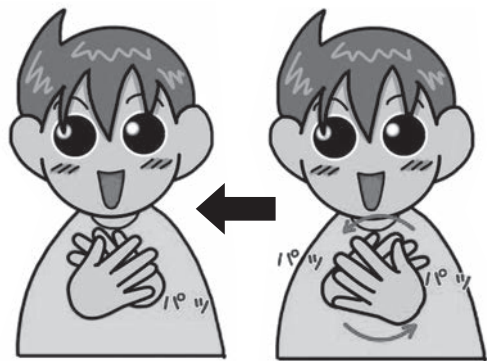
さきがけの人達は、農家の二二軒で「魁」として平成三年頃丁Aから発行された電話帳に「魁」部落として農家組合的にまとまって掲載されている。

今、この地域には、非農家も道沿いに並んでおり、かつてここが「さきがけ」という歴史を持っていたことを知る人は少なくなっている。

（関 正平）

やってみよう！手話

今回の手話：桜



両手のひらを前後にたたき合わせながら、前後の手の位置を入れ替えます。

協力：手話サークルよつば

あいちとっぴ

一般寄附金

▼第一生命保険会社新潟支社様から

34,520円

暮らしのカレンダー 4月・5月

4月 21 (木) 大安	・休館（BBC） ・けんこう栄養相談会（前日までに健康福祉課 ☎内線165へ要予約） ゆきつばき荘 9：00～12：00
22 (金) 赤口	・古典文学の集い・万葉集 市立図書館 10：00から
23 (土) 先勝	
24 (日) 友引	☎休日当番医 中村医院 ☎52-0095 9：00～17：00 ・市長との座談会 産業センター 15：00～17：00 (旧)加茂西小学校 19：00～21：00
25 (月) 先負	・休館（市立図書館、民俗資料館、各コミセン）
26 (火) 仏滅	・休館（文化会館、温水プール）
27 (水) 大安	・行政相談 市役所相談室1 9：00～11：30 ・心配ごと相談 市役所相談室4 9：00～15：00 ・休館（美人の湯）
28 (木) 赤口	・読もう、語ろうイギリス文学 市立図書館 10：00から ・休館（BBC）
29 (金) 先勝	☎昭和の日 ☎休日当番医 鷲塚内科医院 ☎52-2054 9：00～17：00 ・全日本学童野球大会予選会・加茂市少年野球大会 七谷球場ほか 8：30から
30 (土) 友引	・全日本学童野球大会予選会 七谷球場ほか 8：30から

5月 1 (日) 仏滅	☎休日当番医 田上診療所 ☎57-5015 9：00～17：00
2 (月) 大安	・休館（市立図書館、民俗資料館、各コミセン）
3 (火) 赤口	☎憲法記念日 ☎休日当番医 さくらクリニック ☎52-9511 9：00～17：00 ・全日本学童野球大会予選会 七谷球場ほか 8：30から ・二十歳を祝う会 産業センターホール 12：30受付 ・休館（市立図書館、文化会館）
4 (水) 先勝	☎みどりの日 ☎休日当番医 監物小児科医院 ☎52-0800 9：00～17：00 ・休館（市立図書館）
5 (木) 友引	☎こどもの日 ☎休日当番医 いからし小児科アレルギークリニック ☎53-2250 9：00～17：00 ・休館（市立図書館）
6 (金) 先負	・休館（温水プール、BBC）
7 (土) 仏滅	
8 (日) 大安	☎休日当番医 ながば耳鼻咽喉科医院 ☎53-0751 9：00～17：00

月日	休日当番医	☎
4/17(日)	にのみや内科クリニック	57-0770
24(日)	中村医院	52-0095
29(金・祝)	鷲塚内科医院	52-2054
5/1(日)	田上診療所	57-5015
3(火・祝)	さくらクリニック	52-9511

粟ヶ岳山開き 中止

粟ヶ岳山開き登山は今年も中止します。

JR加茂駅からの臨時シャトルバスは運行はありません。なお、加茂山岳会による神事は実施予定です。

問い合わせ 商工観光課観光係（☎内線131）、加茂山岳会事務局（☎52-8760）

駅前～新町商店街などで無料Wi-Fi



※フリースポット（無料Wi-Fi）は駅前商店街～新町雁木通り商店街のほかに、市役所、市立図書館、産業センター、加茂七谷温泉美人の湯、BBC、各コミセンでも利用できます。

基本的な 感染対策を たいせつに!

マスクや 手洗いの徹底
こまめな 換気
体調が 悪いときは 無理をしない
混雑を 避けよう
大人数や 長時間の飲食を 避けよう

みんなの努力で みんなの笑顔を

内閣官房 新型コロナウイルス等 感染症対策推進室
すみっコぐらし™
©2022 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.
内閣官房 新型コロナウイルス感染対策 <https://corona.go.jp/> から引用)

#かもぴく

Instagramで加茂の様子や風景の写真、自分で描いた絵を「#かもぴく」をつけて投稿していただいた中から、毎月1枚をご紹介します。



@drkshdw4strings



問 総務課広報広聴係 (☎内線 327)

ここに **広告掲載** できます!

全戸配布の広報紙なので、市域全体へ周知できます。料金表や申込などの詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。
<https://www.city.kamo.niigata.jp/docs/30432.html>

問 総務課広報広聴係 (☎内線 327)



人口のうごき 4月1日現在 世帯 10,137 (-4) 人口 25,390 (-114)
 男 12,375 (-76) 女 13,015 (-68) ()内は前月比
 (3月異動分) 出生8 (男3 女5) 死亡41 (男 16 女 25) 転出166 転入55



リサイクル適性(A)
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。